

The background image shows a scenic view of a river, likely the Kiyomizu River in Hikone, Japan. The river is calm, reflecting the sky and the surrounding cherry blossoms. On the left bank, there are dense, vibrant pink cherry blossom trees in full bloom. On the right bank, there is a stone wall and a traditional Japanese building with a white roof. A small boat with several people is visible on the river in the distance. The overall atmosphere is peaceful and beautiful, typical of a cherry blossom festival.

令和7年度 予算の概要

滋賀県 近江八幡市

目次

令和 7 年度市政運営の基本方針	1 頁
当初予算額	2 頁
一般会計当初予算の推移	3 頁
一般会計当初予算の内訳	4 頁
市債と基金の状況	5 頁
主な事業の紹介	6 頁～ 5 6 頁
主な事業の一覧	5 7 頁～ 6 4 頁
ふるさと応援寄附金活用事業の紹介 . .	6 5 頁～ 7 6 頁

令和7年度市政運営の基本方針

市政運営の基本方針は昨年度に引き続き堅持します。社会が劇的な変化を遂げ、価値観そのものも変化してく中で、従来どおりのやり方では著しく通用しない今、職員一人ひとりが基本方針を念頭に施策を企画し真に実行してまいります。

トライ・アンド・エラー
を繰り返す

穴を恐れず、試行を行い迅速に修正を加えつつ絶え間なく前進する。失敗無くして改善無し、不作為に前進無し。

常に「実行」「実現」を
前提に方策を考える

「出来ない」「やらない」の理由はいくらでも見つけることが出来る。どうすれば、どこに手を入れれば実現可能なのかを常に念頭に進める。

トップランナー集団を
目指す

最初に行うことを恐れず、先を行くものを真似、追いつこうとすることを厭わない。

補いあい、助け合う

足りないところ、出来ないところは見過ごさず、組織や与えられた役割の分掌に関わらず補いあい、助け合う。

●重点的取組施策

1. 子育て及び教育環境 の充実

まちづくりとは、つまるところ「ひとづくり」に他なりません。これまでも子育てを支援する施策については、とりわけ経済的な支援の面において充実を図ってまいりました。今後も引き続きこの流れを継続していくとともに、これからの時代に必要となる感性や、独創力、また社会に関わる力を引き出す機会を増やしていく取り組みとして、読書等によって経験の幅を広げることや、文化芸術・スポーツの推進をはじめ、多様な教育との関わりなどを通じて引き続き進めていきます。

2. 産業基盤の強化

本市の魅力発信を継続するとともに、農業を含めた地場産業と地域企業の育成を当該の主体となる市民、企業と一体感を持って進めていきます。また当市に人材を引き寄せられるような歴史・伝統や自然景観を守り育てていきます。

3. 高齢化する社会、分 化する社会に対応する行 政サービスの実現

デジタル技術等を駆使し、「いつでもどこでも自ら」の利便性や機能性の確保を図る一方で、行動の制限を受けている、また受けやすい高齢者や障がいのある方などが不安やストレスを出る限り少なく生活が続けられるような行政サービスの実現に向けて歩みを進めていきます。

4. 持続可能な社会の実 現へのステップ

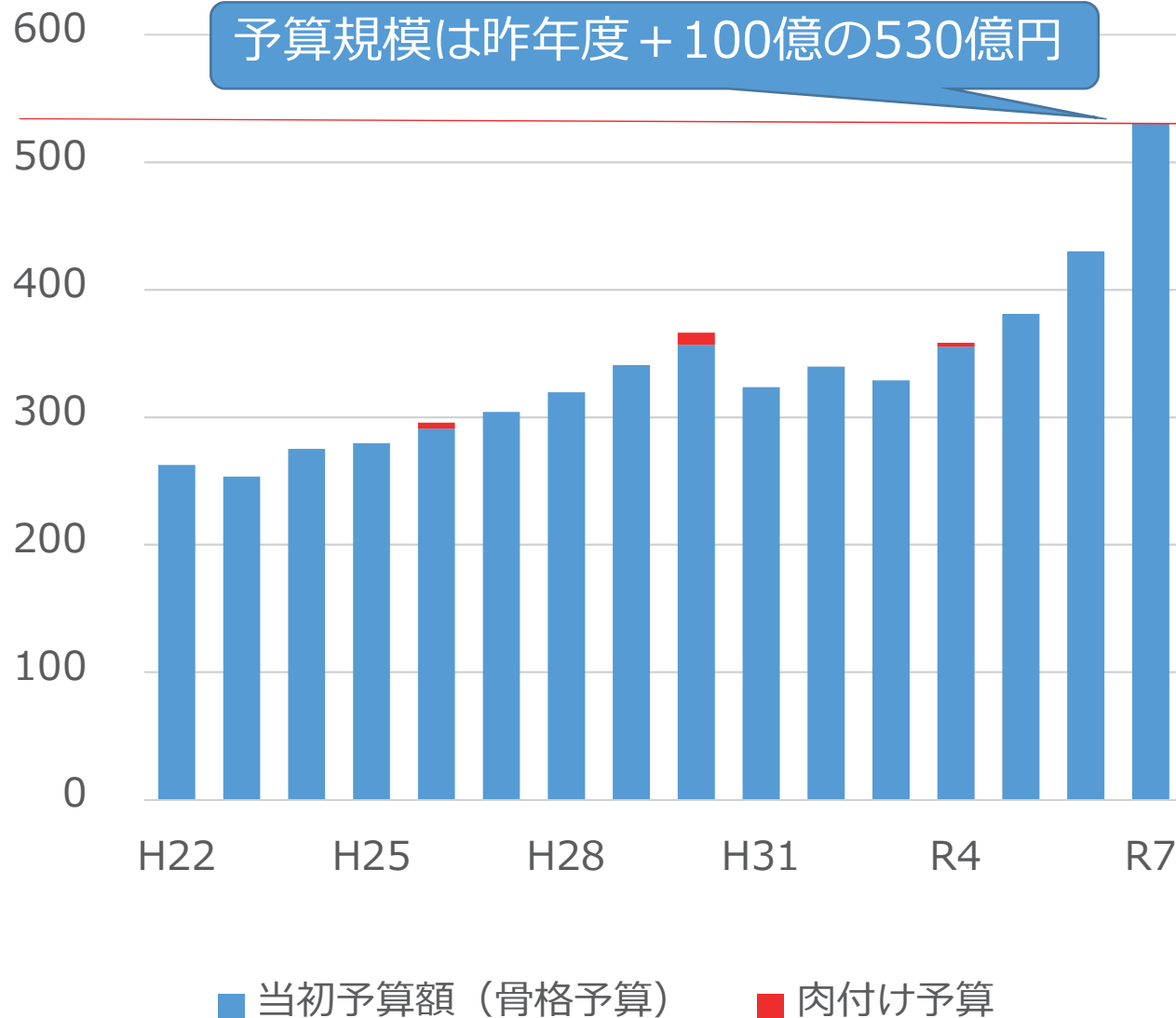
激甚化し予測が困難になりつつある自然災害等への対応力の獲得へ向けて体制強化を図っていくとともに、カーボンニュートラル実現への取り組みを引き続き進めるほか、自然環境と共生が図れる社会へ変化を進めていきます。

近江八幡市長 小西 理

当初予算額

会 計	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減
一般会計	5 3 0 . 0 億円	4 3 0 . 0 億円	+ 100億円 (+23.3%)
特別会計 (全 6 会計)	1 6 6 . 5 億円	1 6 5 . 0 億円	+ 1.5億円 (+0.9%)
企業会計 (全 3 会計)	2 6 4 . 5 億円	2 5 7 . 1 億円	+ 7.4億円 (+ 2.9%)
全会計総額	9 6 1 . 0 億円	8 5 2 . 1 億円	+ 108.9億円 (+ 12.8%)

一般会計当初予算の推移



R7の主な増加要因

大型施設整備の継続実施 **+46.8億**

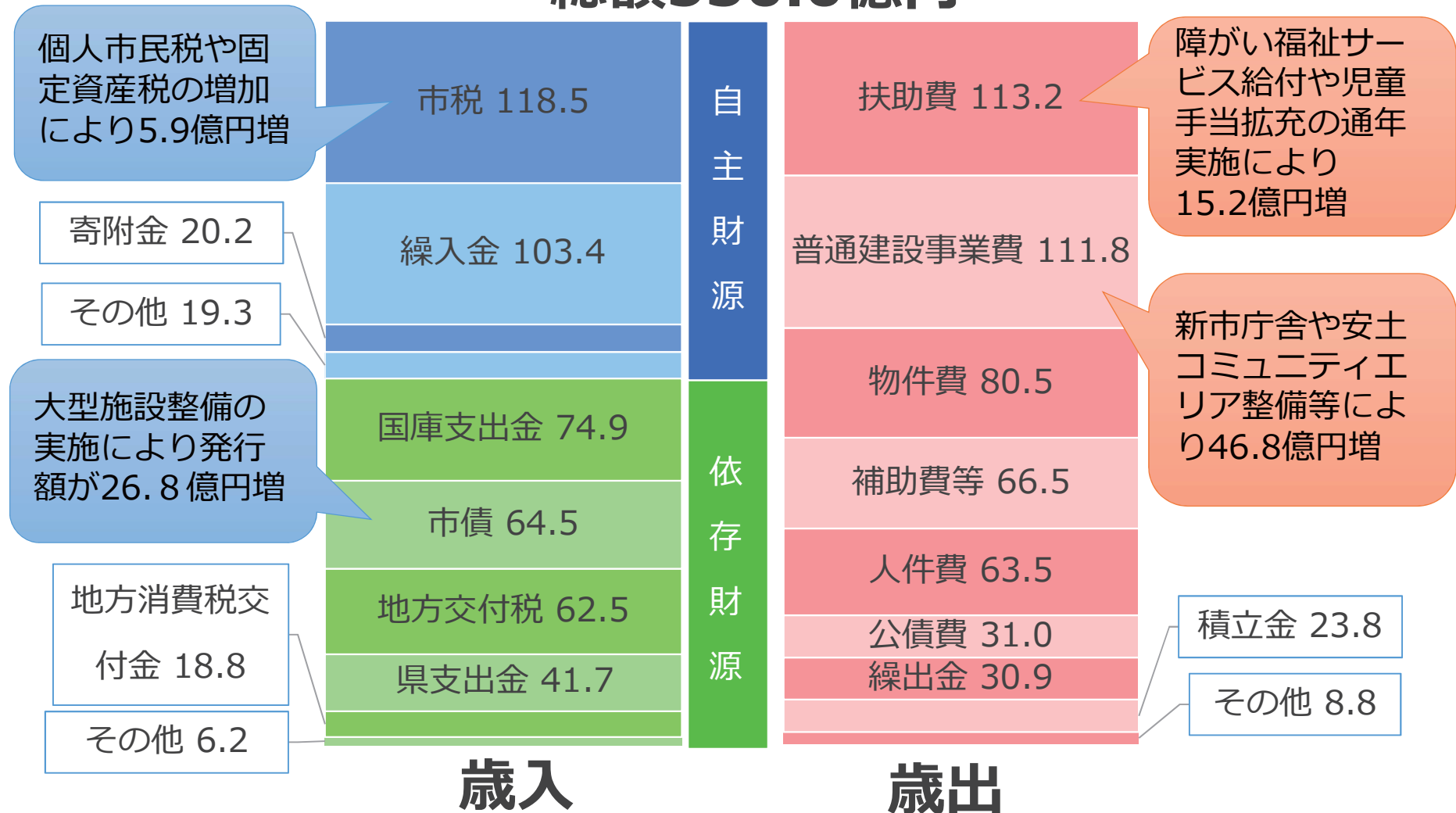
GIGAスクール構想における1人1台端末の更新や自治体情報システムの標準化による物件費の増 **+17.3億**

社会保障関係経費の増 **+15.2億**

第79回国民スポーツ大会の実施や低所得者支援等による補助費等の増 **+10.1億**

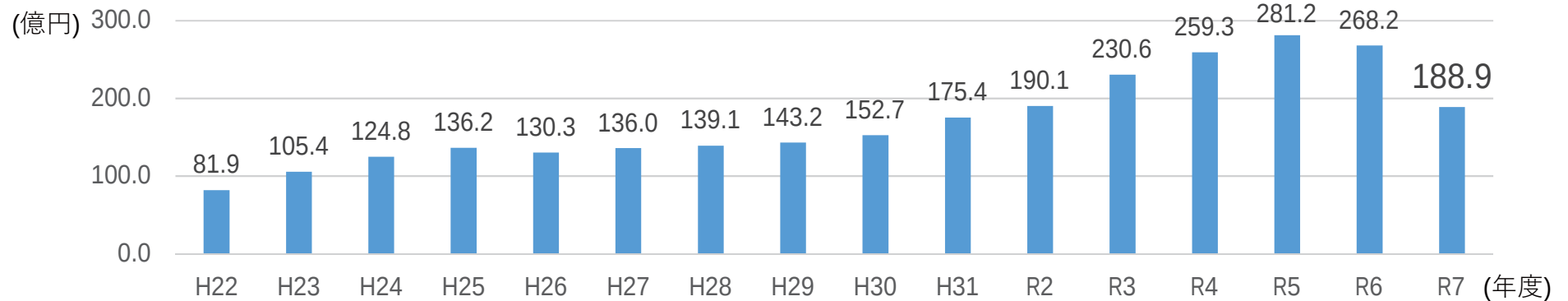
一般会計当初予算の内訳

総額530.0億円



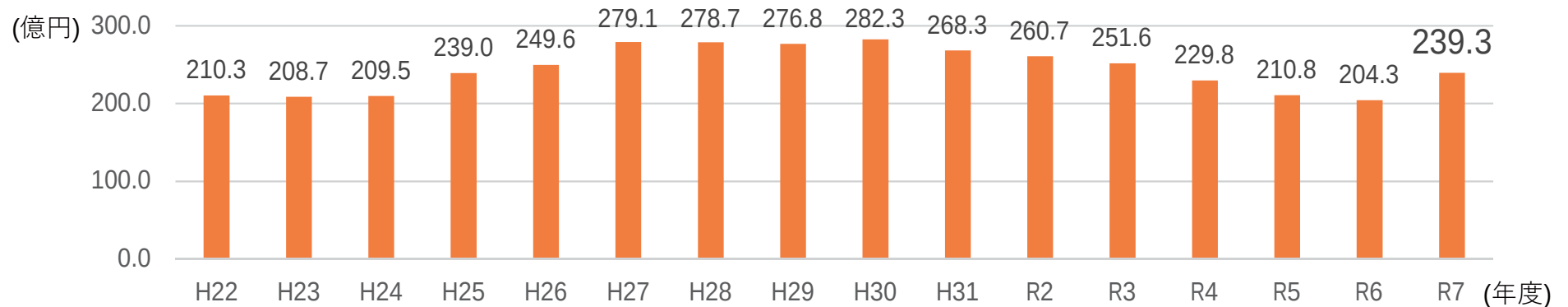
市債と基金の状況

貯金(基金)



これまで大型施設整備の実施に備えて着実に蓄えてきた貯金の取り崩しにより、前年度から
79.3億円減少し、残高は188.9億円になりました

借金(市債)



新市庁舎や安土コミュニティエリア等の整備に伴い、借金が前年度から**35.0億円増加**し、
残高は239.3億円になりました

主な事業の紹介



令和7年度当初予算は

**『誰もが輝く希望に満ち溢れた
未来創造型予算』**

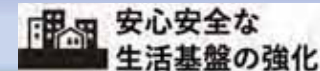
と位置づけ、以下のキーワードに配分した予算としました。

＜キーワード＞

- ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ G X ・ D X 推進
- ④ 安心安全な生活基盤強化 ⑤ 高齢者生きがい

事業施策

避難所空調設備整備事業



新規

所管課 市長直轄組織 危機管理課

【予算額】52,978千円
(財源:市債52,900千円 一般財源78千円)

【目的】

近年の記録的な猛暑による災害発生時における避難所の防災機能強化対策
として必要性が高まっているため、避難所に指定している市内全ての公立
小中学校の体育館、運動公園体育館及びサンビレッジ近江八幡に空調設備を
整備します。

【現状と課題】

・現在市内小中学校の体育館は避難所に指定
されている。避難生活をおくる上での良好な
生活環境確保の手段として、空調設備の整備
が必要となってきました。

【効果】

・災害時の避難所生活を良好な環境を確保
避難者の健康管理に寄与します。

【整備手法】

長寿命化計画（八幡西中学校、八幡東中学校、
桐原東小学校）及びエリア整備（安土小学校）
を除く12校と運動公園、サンビレッジを3カ
年計画にて整備

令和7年度	第一期工事	実施設計
令和8年度	第一期工事	設置工事
	第二期工事	実施設計
令和9年度	第二期工事	設置工事



事業施策 オーガニックヴィレッジ推進事業

継続

GX
DX GX・DX推進

所管課 総合政策部 企画課

【予算額】35,535千円
(財源:国費13,122千円 一般財源22,413千円)

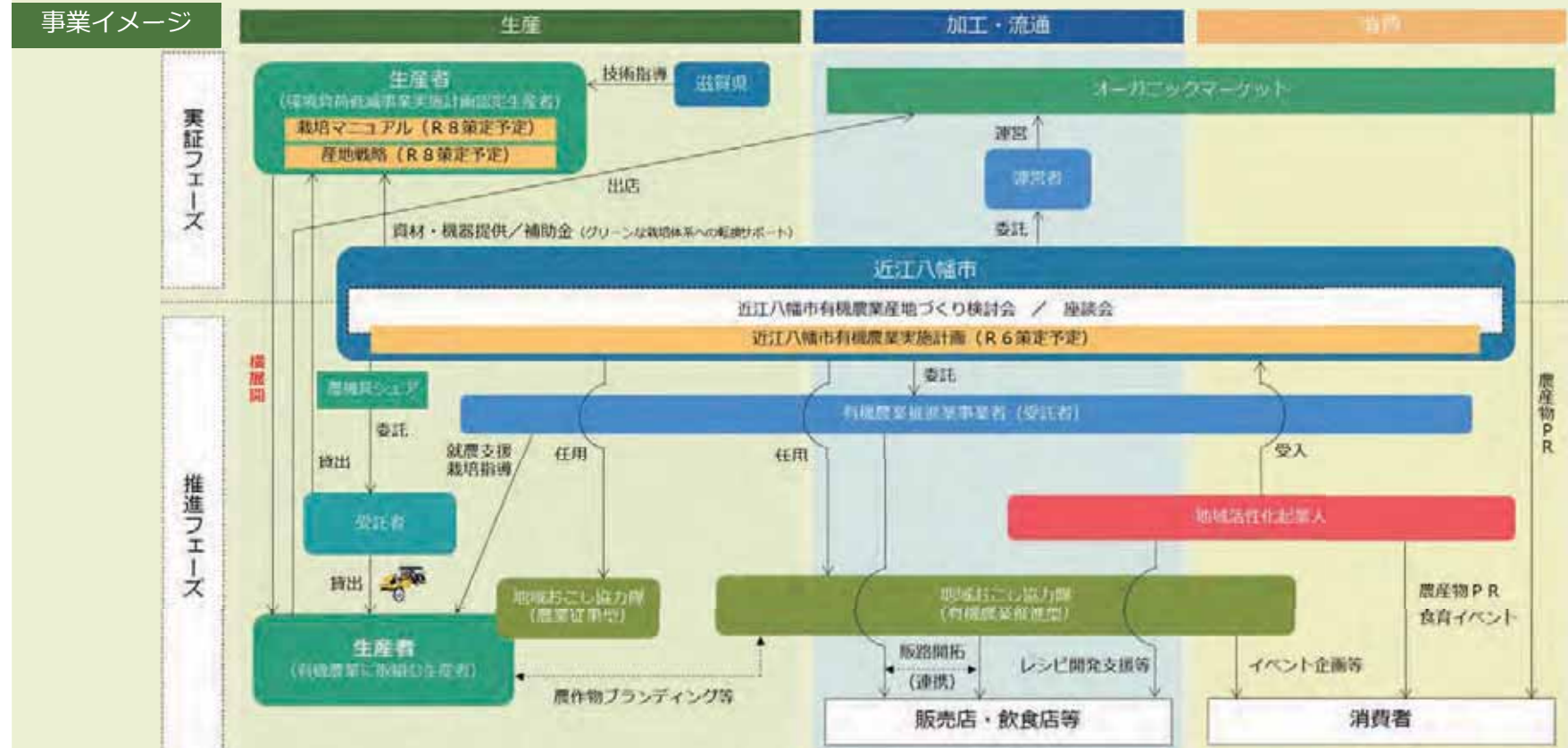
現状と課題

- 農業従事者の減少・高齢化が進んでおり、若い担い手の確保が必要
- 気候変動の影響による農産物の品質劣化や、自然災害による被害が深刻化している。
- 食料生産資材（主に化学肥料・農薬）のほとんどを海外に依存しており、近年の物価高騰による農業経営への影響が甚大。

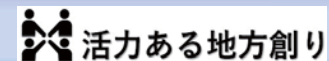
効果と目指す姿

- 有機農業に関心の高い、若い新規就農者が集まり、農業が次世代へと継承される体制が構築される。
- 化学肥料・農薬の低減や、有機質資材による炭素の土壌定着などにより、農業を通じた脱炭素が進展している。
- 有機農業による環境負荷低減がなされ、自然景観や生物多様性が確保されている。

事業イメージ



事業施策 地域まちづくり支援事業



継続

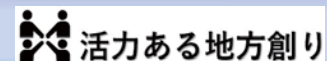
所管課 総合政策部 まちづくり協働課

【予算額】134,393千円
(財源:一般財源134,393千円)

概要	学区まちづくり協議会の運営及び学区まちづくり計画を実現するための活動の実施に要する経費に対して学区まちづくり支援交付金を交付
現状	・近年の最低賃金の上昇や物価の高騰等による社会情勢の変化 ⇒ 令和元年以降、金額の見直しがされていない
	↓
課題	・年々事業にかかるコストが上昇し、既存事業の縮小、見直しを余儀なくされている。 ・賃金を含む採用条件により、まちづくり協議会職員の人材確保や定着が難しい。 ・人員および財源不足により新規事業の展開が困難。多様化する地域課題への対応。
	↓
取組み	まちづくり支援交付金の算定にあたり、物価や最低賃金の上昇を考慮した金額に見直しを行う。
効果	各学区の特性を生かした個性的で活力あるまちづくり活動の推進につながる。



事業施策 省エネ家電買換え等補助メニューの拡充 (がんばる自治コミュニティ事業)



拡充

所管課 総合政策部 まちづくり協働課

【予算額】13,050千円
(財源:ふるさと13,050千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

- ・「近江八幡市脱炭素ビジョン」に基づく、CO2排出量の削減、地域脱炭素社会の実現のために自治会が行う省エネルギーに対する取り組み（省エネ家電への買い換え）に対し支援を行う。
- ・自治会が維持管理する広場やゴミステーションは、自治会員の減少や高齢化により適切な管理を行うことが年々困難になり、人的・金銭的な負担に対する行政支援を求める声が大きくなっている。協働のまちづくりの理念のもと、持続可能な自治会活動を支援するため、樹木の伐採及びゴミステーションの設置・修繕にかかる経費に対し支援を行う。

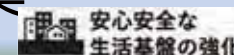
事業名	新設メニュー	補助対象	補助率	補助上限額
自治会館等 改修事業	省エネ家電買換	自治会館に設置されている家電（エアコン、冷蔵庫）の省エネ製品への買換えにかかる経費	1/3	100千円
自治コミュニティ 広場整備事業	樹木の伐採	自治会が管理する広場等の樹木の伐採にかかる委託経費	1/2	150千円
コミュニティ 施設整備事業	ゴミステーション の設置・改修	自治会が管理するゴミステーションの設置・改修にかかる経費	1/2	50千円

※ふるさと応援基金活用事業の周知については、整備箇所、備品にラベル、プレートを設置し、周知する。



事業施策 安土地域防災センター整備事業

継続



所管課 総合政策部 まちづくり協働課

【予算額】76, 276千円
(財源:市債72, 400千円 その他3, 876千円)

【現状と課題】

安土町下豊浦地先で、安土小学校、地域防災センター、消防分団詰所、放課後児童クラブを一体整備する「安土コミュニティエリア整備事業」において、策定した構想の具体化に向け、地域防災センターの設計業務を進める必要がある。

【取組み】

安土コミュニティエリア整備のうち、地域防災センターにかかる定例会議、地元協議、庁内協議により仕様を決定し、設計作業を進める。

【効果、目指す姿】

災害時には安土学区の現地本部、また避難施設として活用し、平常時は地域コミュニティの拠点として、市と市民による協働のまちづくりを進めるためのさまざまな地域活動の場となることを目指し施設整備を行う。

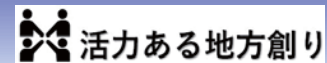
【今後の予定】

令和7年度	エリア整備に必要な設計 造成工事
令和8年度～	建築工事
令和9年12月	竣工予定



事業施策

モザンビーク交流事業補助金 (国際交流・多文化共生推進事業)



活力ある地方創り

継続

所管課 総合政策部 まちづくり協働課

【予算額】4,500千円
(財源:一般財源4,500千円)

【経過】

- ・ これまで日本とアフリカ諸国との自治体間交流は、アジアや欧米各国と比較すると事例が少ない。
- ・ 本市のアフリカ諸国出身の住民も少ないため、アフリカは遠い存在であった。
- ・ かつて、織田信長公がモザンビーク出身と言われている「弥助」を登用したとされていることをきっかけとして、市内民間団体による交流がスタートした。
- ・ 令和5年度 駐日モザンビーク共和国臨時代理大使来訪
- ・ 令和6年度 万博国際交流プログラム事業（内閣官房）での交流事業



【令和7年度交流事業補助】 ※①②共に民間団体によるもの

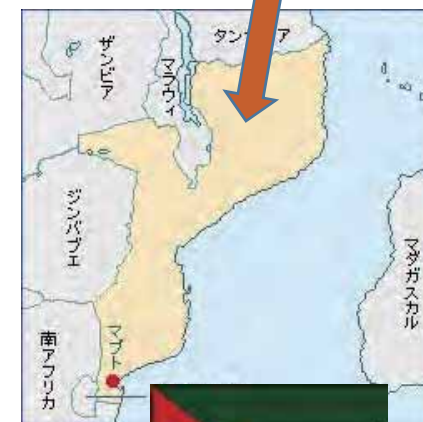
メニュー	補助対象	補助率	補助上限
①モザンビークへの渡航交流事業	モザンビークへの渡航またはモザンビークから関係者を招へいし実施する交流事業経費	1/2	2,600千円
②国内での交流事業	国内で実施する交流事業経費	4/5	300千円

【関連イベント】
令和7年度
大阪・関西万博
令和8年度
安土城築城450年

【目指す姿】

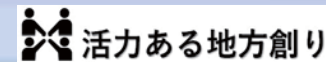
- ・ 民間主導による国際交流
- ・ 遠いアフリカが身近な存在に
- ・ 地域の魅力再発見

- ・ 多文化共生の推進
- ・ 地域の活性化



モザンビーク共和国

事業施策 ふるさと音楽祭振興事業



新規

所管課 総合政策部 文化振興課

【予算額】10,000千円
(財源:ふるさと9,500千円 その他500千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題 人口減少社会となり都市間競争が進む中、他の都市にない近江八幡市ならではの魅力あるまちづくりに取り組む必要があります。
また、国際化に対応するため、外国人にとっても魅力のあるまちを目指す必要があります。
目指す姿 ふるさと名誉市民第一号西川知雄氏の協力により、一流の演奏家による音楽をキーワードに世界からも注目されるまちづくりを目指します。

近江八幡らしい自然や風景、町並みと一流の演奏家による音楽が融合した「音楽のまち」を目指し、近江八幡市ふるさと音楽祭を開催します。

街なかミニコンサート

八幡堀や新町通りなど、近江八幡らしい町並みや建物を会場にしたミニコンサートを開催します。

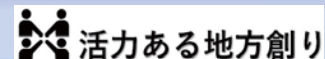
BIWAKOビエンナーレ×コラボコンサート

秋に開催予定の国際芸術祭BIWAKOビエンナーレと連携し、町並みと歴史的建築物、芸術と音楽の融合した近江八幡ならではのコンサートを開催します。

【ふるさと応援基金の周知方法】ポスター・チラシ・冊子等の広報物での周知を行います。

事業施策

VR安土城体験システム開発委託事業 (文化財保存活用事業)



新規

所管課 総合政策部 文化振興課

【予算額】28,710千円
(財源:ふるさと28,710千円)

ふるさと応援基金充当

【現状と課題】

『**絢爛安土城**』(VR映像)の**普及啓発の場が少ない**
現在、文芸の郷「安土城天主信長の館」にて上映中の映像は、シアター型のためVRへの**没入感が少ない**

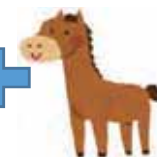
【取組み】

- ・ **新シナリオ**の開発
- ・ VRを体感できる**ヘッドマウントディスプレイ**等の機器購入
- ・ 「信長の館」で**体験できるスペース**を設置
- ・ 各イベントで体験コーナー設置

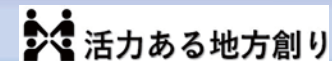
【効果、目指す姿】

“**幻の城安土城**”をよりリアルに**体感**してもらうことで安土城跡の普及啓発につなげるとともに、**地元**へ**愛着**そして、**誇り**を感じてもらう。

ふるさと応援基金活用の周知方法
購入備品(ヘッドマウントディスプレイ等)に明記



事業施策 文化会館整備事業



継続

所管課 総合政策部 文化振興課

【予算額】983,066千円
(財源:市債834,600千円 その他148,466千円)

現状と課題

文化会館は昭和54年（1979年）に開館し45年が経過。施設や設備の老朽化が進むとともに稼働率も低下している。

取組み

ホールとしての機能を回復するため計画的な施設改修。

R 2 高圧受電設備の改修

R 3～R 5 文化会館固有の設備である舞台照明・舞台機構の改修

R 6～R 7 外壁外構、大ホール天井の耐震化、空調設備等の改修
時代のニーズに応じるトイレ改修、エレベーター設置、
音響設備更新、都市ガス切替改修等

R 7年9月1日 リニューアルオープン

効果、目指す姿

本市の文化芸術の発信拠点として、多くの市民が文化会館を活用できる環境を整える。

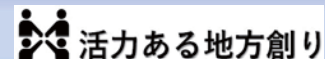
文化芸術の人材育成・鑑賞機会に組織的に取り組み、市民生活が心豊かなものとなる文化芸術の創造空間を実現する。



リニューアル外観イメージ

事業施策

出張！お城EXPO事業 (観光ブランディング推進事業)



新規

所管課 総合政策部 観光政策課

【予算額】1,132千円
(財源:ふるさと1,132千円)

ふるさと応援基金充当

1.現状と課題

お城好きの交流イベント「出張！お城EXPO in 滋賀・びわ湖」が市内で開催予定

- 「当市の安土城、観音寺城、八幡山城」等のお城
- 「織田信長公」「豊臣秀次公」等の武将
- 「安土城築城450年事業」等のイベント 等々

この好機に

当市の戦国コンテンツをPR!

2.取組み

- 出張！お城EXPOへの出展
 - 観光PR、物産販売、武将隊
 - イベント盛り上げ企画（戦国クイズなど）
- 戦国テーマのツアー実施
- 安土城築城450年事業のPR



3.効果、目指す姿

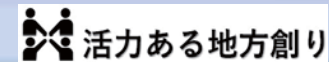
- ・戦国コンテンツの総括
- ・当市を訪れた戦国ファンの満足度向上
- ・観光客の誘客促進、リピーター増、滞在時間の延長
- ・安土城築城450年事業の気運醸成



出張！お城EXPO
In滋賀・びわ湖2024
(米原会場の様子)

○ふるさと応援基金活用の周知方法
作成するパンフレットに明示

事業施策 家計応援商品券配布事業



継続

所管課 総合政策部 市民生活・産業支援室

【予算額】275,064千円
(財源:国費204,247千円 一般財源70,817千円)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当

現状と課題

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受け、依然として市民は日常生活に苦慮している。



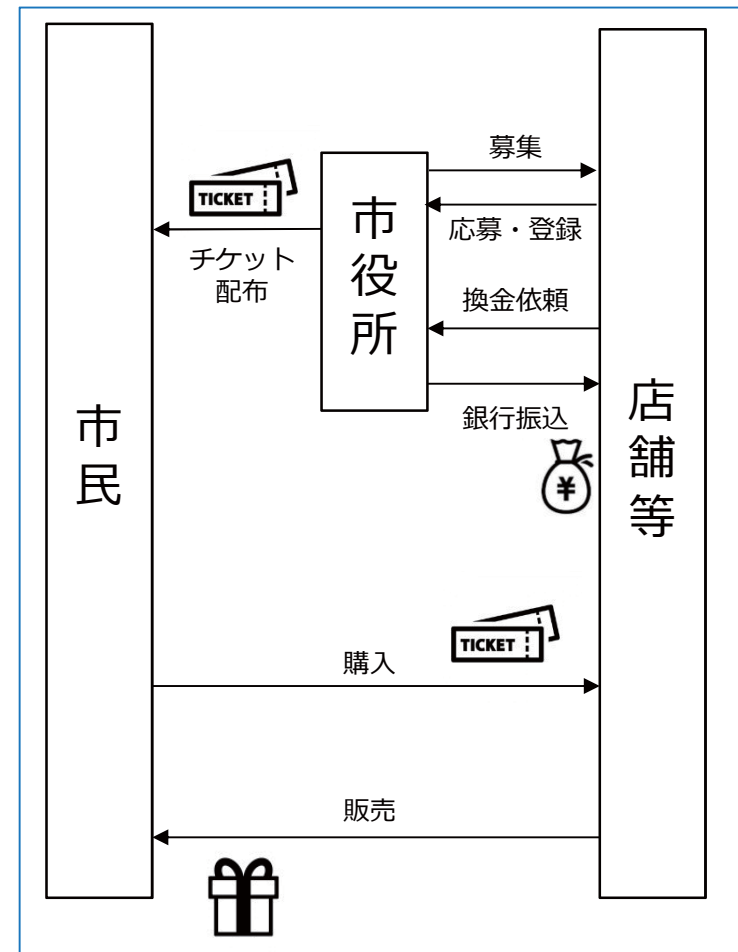
取組み

6月1日現在で住民登録のある市民を対象に、9月1日から市内の登録店舗で利用できる3,000円分の商品券（200円*15枚）を配布する。（8月中に配布予定）
※利用期間は9月1日～1月31日



効果、目指す姿

物価高騰の影響を受けている市民について、商品券による家計への直接的な支援を行い、市民生活の安定を図る。



事業施策 新市庁舎整備事業

継続

所管課 総務部 管財契約課

【予算額】4,164,399千円

(財源: 県費5,000千円 市債3,123,400千円 その他1,035,999千円)

【経過】

令和元年度 : 基本計画策定
令和2～3年度 : 基本設計作成
令和5年度 : 設計施工一括発注方式による入札、実施設計の着手
令和6年度 : 実施設計の完成、1期工事着手



【令和7年度の取組】

1期工事を完了させ、令和8年1月に新庁舎を供用開始できるようにする。



【目指す姿】

新庁舎供用開始後、現庁舎の解体や第2期工事を実施し、令和8年12月のグランドオープンを目指す。



【整備方針】

- 誰もが相談しやすく居心地のよいハートフルな庁舎
- 防災拠点機能を有した連携がとれる庁舎
- 将来の環境変化に柔軟に対応する持続可能性の高い庁舎
- 機能や性能とコストバランスのとれたコンパクトな庁舎

事業施策 市庁舎南別館施設改修事業

継続

所管課 総務部 管財契約課

【予算額】297,402千円
(財源:市債267,600千円 その他29,802千円)

【現状と課題】

近江八幡市庁舎整備基本計画において、既存施設の有効活用の観点から南別館を庁舎機能の一部として活用することとしている。庁舎機能の移転に伴う改修工事及び外部倉庫の建替えが必要となる。



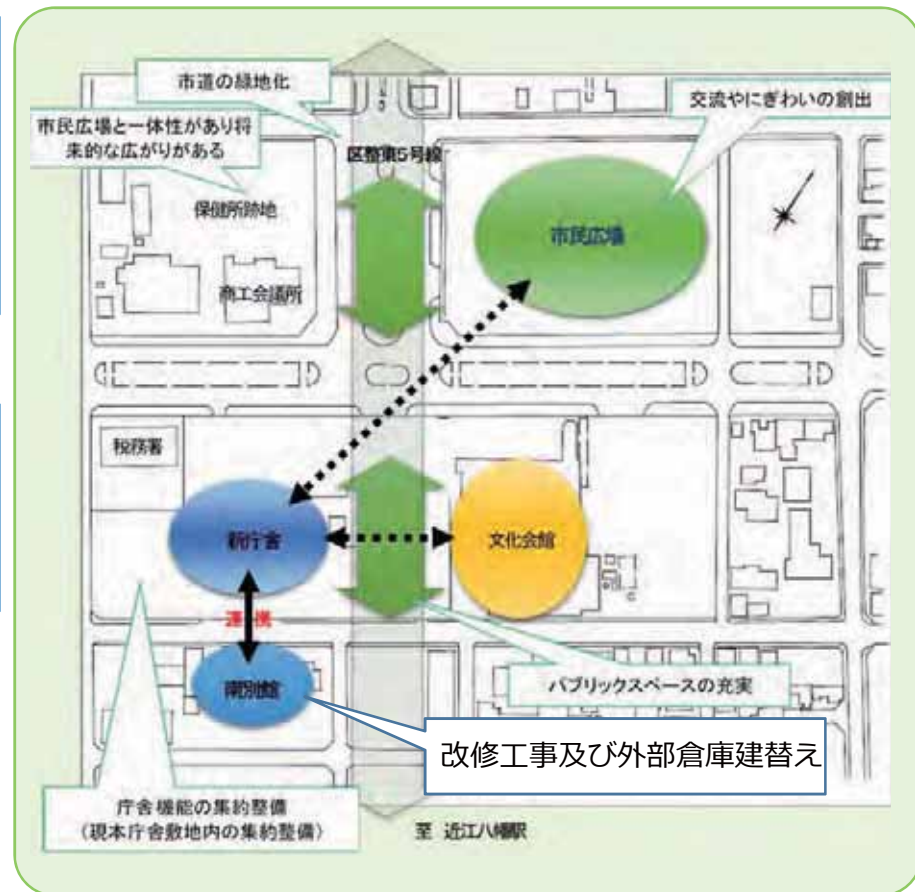
【令和7年度の取組】

令和6年度に作成した実施設計に基づき、外部倉庫の整備を行うとともに、南別館の改修工事に着手する。



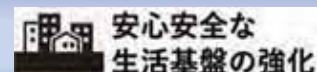
【効果】

南別館を庁舎機能の一部として活用し、新庁舎と連携して行政サービスの提供を行う。



事業施策

市民課窓口業務委託事業 (戸籍住民基本台帳事業)



新規

【債務負担】267,189千円(令和8年度～10年度)

【令和7年度予算額】59,314千円

(財源:国費8,002千円 一般財源51,312千円)

所管課 市民部 市民課

現状の課題と経過

近年国内の人口が減少する中、全国的に自治体は人材不足に陥っている。一方、DX推進が進められる中、マイナンバーカードを始め、住民基本台帳ネットワークのインフラ整備により、窓口事務は更に複雑化している。よって今後も安定した窓口業務を存続させるための一つの方法として、窓口業務の民間外部委託を行う自治体が増えている。

当市も例外ではなく、窓口事務の複雑化により従前の2～3倍の時間を事務に要し、市民の待ち時間が増え、窓口が混みだすとなかなか捌けない状況に陥っている。

そんな中、当市では令和3年度から「窓口改善を通じて近江八幡市としてのあるべき窓口サービスを模索する」ことを目的に構成された窓口改善チームや、令和5年度からの「窓口サービス改善プロジェクト会議」の中で、複数課にまたがる課題解決、おくやみ窓口の設置、窓口業務の委託化について検討されてきた。

取組み

現状の業務の整理をし、窓口業務の民間外部委託をすることにより、現状の課題の解決、市民サービスを向上させ、安定した窓口業務を存続させる。

効果、目指す姿

市民サービスの向上及び窓口業務の満足度向上
(目標:市民の待ち時間 30%削減)

スケジュール

- 令和7年 4月 公募型プロポーザル公告
マニュアル作成、体制整備
- 令和7年 6月 契約締結
- 令和7年12月 委託開始

主な業務内容

フロア案内



各種証明書の
受付・出力・交付等



住所異動・戸籍
の受付・入力、
マイナンバー
カード内更新等



郵便請求業務



申請サポート
(出張含む)



カード交付・電子
証明書更新等

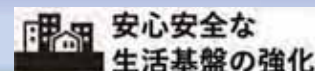


カード交付通知の郵送や
交付準備



事業施策

特殊詐欺等対策事業 (住民防犯活動事業)



新規

所管課 市民部 人権・市民生活課

【予算額】500千円
(財源:ふるさと500千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

- ・令和5年の滋賀県内の特殊詐欺の発生状況は、令和4年に比べほぼ倍増。
- ・本市の令和5年の発生状況は令和4年と比べほぼ横ばいながら、令和6年は増加傾向。特に高齢者の被害の割合が多い。
- ・SNSや出前講座による被害防止の啓発活動を行っているが、特殊詐欺関連の電話が多発し、被害の増加が懸念される。

取組み

1. 啓発活動のさらなる強化

現在の出前講座に加え、いきいき百歳体操等高齢者の集まる場に出向き、啓発活動を行う。

2. 特殊詐欺対策機能付き電話機等の購入費用の補助 【補助金額】 購入費用の1/2(上限10千円)

【対象】 市内に居住する65歳以上高齢者を含む世帯1世帯1回のみ

【対象商品】市内の販売店で購入された特殊詐欺対策機能付き固定電話機または固定電話機に接続可能な対策機器

【ふるさと応援基金活用の周知方法】周知の広報・チラシ等および交付決定通知書に基金活用の旨を記載

特殊詐欺の発生状況

	R4(1~12月)		R5(1~12月)		R6. 9月末(1~9月)	
	件数 (件)	被害額(千円)	件数 (件)	被害額(千円)	件数 (件)	被害額(千円)
滋賀県	132	324,000	266	624,000	199	547,070
近江八幡市	5	5,453	6	3,576	8	10,209

うち高齢者の被害状況

	R4(1~12月)		R5(1~12月)		R6. 9月末(1~9月)	
	件数 (件)	被害額(千円)	件数 (件)	被害額(千円)	件数 (件)	被害額(千円)
滋賀県	98	188,573	161	409,190	92	326,168
近江八幡市	5	5,453	3	1,315	6	9,000



消費者教育出前講座での寸劇の様子



効果、目指す姿

高齢者が特殊詐欺の被害に遭うことなく、安心して暮らせる。

事業施策

デジタルでつなぐバスの未来 (市民バス運行事業)

GX
DX GX・DX推進

新規

所管課 市民部 交通政策課

【予算額】40,033千円

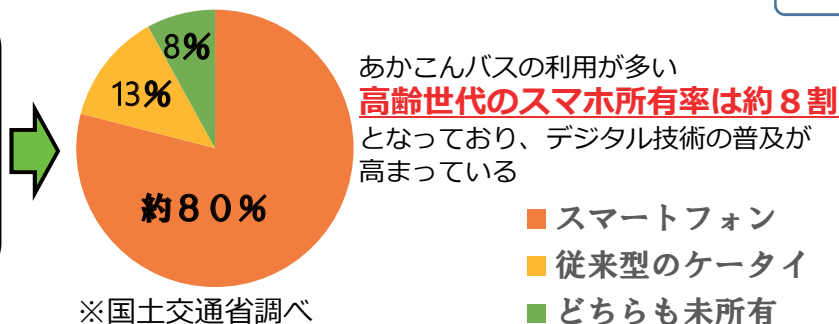
(財源:国費20,016千円 ふるさと20,017千円)

【現状】

【デジタル技術の普及率】

ふるさと応援基金充当

- ・リアルタイムの運行状況が分からない
- ・多言語に対応していない
- ・時刻表、運行ルートは紙媒体のみ
- ・現金以外の運賃支払い方法が少ない
- ・市役所窓口でしか購入できない乗車券がある
etc...



【必要となる取組】

DX施策の
展開が必要

【取組一覧】

	①バスロケーション	②デジタルサイネージ	③交通系IC (ICOCA)	④自動販売機
内容	バスにバスロケーションシステム (小型GPSユニット) を設置する	市役所 (屋外1基・屋内1基)、近江八幡駅北口 (屋外1基) 及び医療センター (屋内1基) にデジタルサイネージを設置する	公共交通機関での現金以外の支払い方法として、最も利用率の高い、交通系ICカード (ICOCA) を導入する	引き続き紙媒体の乗車券を利用したい人の利便性向上のため、市役所1階に自動販売機を設置する
イメージ				
効果	・問い合わせをしなくてもリアルタイムの運行情報を把握することができる ・バスの待ち時間等を予測することができる ・多言語への対応 ・紙媒体の時刻表削減	・スマートフォンを持ち合わせていない人でもリアルタイムの運行情報を閲覧することができる ・バス以外の様々な情報の提供も可能	・現金を持たずに乗車することができる ・ICOCAを導入予定の近江鉄道線との連携強化による、利便性向上 ・乗降時間の削減によるダイヤ乱れの抑制	・担当課の窓口に行かなくても乗車券を購入できる ・いつでも乗車券の購入することができる ・車内販売機会の削減により安全運行の徹底につながる

【具体的な周知方法】 バス停 (3か所)、車両 (14台) 内の機器への掲示

事業施策

2050はちまんゼロカーボンチャレンジコンテスト
(地球温暖化対策事業)

GX
DX GX・DX推進

新規

所管課 市民部 環境政策課

【予算額】294千円
(財源:一般財源294千円)

「近江八幡市気候非常事態宣言」において、2050年までにCO2排出量を実質ゼロにすることを表明し、宣言以降、市主導の施策により、各家庭での脱炭素の取組を支援してきたが、市民や本市に勤務する方々の意見を取り入れることにより、更なる取組を進める。

(1) 事業内容

CO2排出削減のための家庭や職場で実践できる取組を募集し、優秀な取組を表彰する。優秀な取組については、地域に発信し、普及拡大させていくとともに、市の施策にも取り入れる。

(2) 表彰内容

グランプリ（賞金**10万円**）、準グランプリ（賞金**5万円**）、入賞（賞金**3万円×3名**）

(3) 応募資格

市内に在住の方、または、市内に通勤・通学されている方

(4) 応募期間

令和7年6月2日～令和7年7月31日（予定）

詳細については広報おうみはちまんのほか、ZTV、ホームページ等で発表

(5) 選考

環境審議会で選考予定

期待される効果

日々の生活の中で、私たち一人ひとりが地球温暖化防止について考えることにより、住みよい環境保全に努め、脱炭素に繋がる新しい豊かな暮らしを実現する。

事業施策

脱炭素推進省エネ家電(LED照明)買換え支援補助事業
(地球温暖化対策事業)

GX
DX GX・DX推進

新規

所管課 市民部 環境政策課

【予算額】20,000千円
(財源:ふるさと20,000千円)

ふるさと応援基金充当

【現状と課題】

本市では令和3年7月1日に気候非常事態宣言を宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指している。

LED照明については発光効率が良く、電気使用量は従来の7～8割が抑えられるとされており、家電製品の中では、エアコン、冷蔵庫に次いで、電力消費量が大きく、それだけ排出されるCO2の削減が見込める。

また、令和5年11月「水銀に関する水俣条約 第5回締約国会議」で、2027年末までに全ての一般照明用蛍光灯の製造を終了することが決定しておりLED照明への移行が急がれる。

【施策と効果】

LED照明への買換えに対し支援を実施することによりCO2排出量削減を図る。また、LED照明の寿命は長く、一般的に8年～10年程度の使用が可能であり、これにより交換頻度が減り、廃棄物の削減にも貢献できる。

【参考データ:白熱球 60W 相当(年間)】

種 類	エネルギー消費量	光熱費	CO ₂ 排出量
白熱電球	(電気)108kWh	2,916 円	53kg
電球型LED	(電気)15kWh	405 円	7.3kg

1日 5.5時間の点灯を想定。

LEDは約86%の省エネ

予算内容

20千円 × **1,000件** = **20,000千円**

購入費(税抜)の2分の1の金額(上限20千円)

(総額10千円以上の購入の場合を補助対象とする)

※ 家庭用のLED照明器具とLED電球が対象

ふるさと応援基金活用の周知方法

- 交付決定通知に事業の趣旨とふるさと納税寄付金を活用している旨の別紙を同封する。
- HPで周知

事業施策

宅配ボックス購入支援補助事業 (地球温暖化対策事業)

GX
DX GX・DX推進

新規

所管課 市民部 環境政策課

【予算額】2,400千円
(財源:ふるさと2,400千円)

ふるさと応援基金充当

【現状と課題】

インターネットでの物品購入が急速に拡大して久しいが、宅配便の取り扱い個数が増加している一方、宅配便の再配達によるCO2排出量の増加やドライバー不足が深刻化している。

本市では令和3年7月1日に気候非常事態宣言を宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指している。市ベースでのCO2の部門別排出量は、産業部門が、39.8%で最も多く次いで運輸部門21.3%となっており、国においても再配達の防止によりCO2排出量の削減を推奨している。運輸部門のCO2削減ではあるが、宅配ボックス設置による再配達防止は家庭で出来る取り組みとなる。

【施策と効果】

再配達を防止するため、宅配ボックスの購入に対し支援を実施する。
再配達の防止により排出されるCO2が本市では年間187,185Kgの削減が見込める。また、宅配便を1回の配達で受け取れることにより市民の満足度の向上にもつながる。
再配達を防止することは物流業者、消費者、環境のすべてに利益がある。



予算内容

10千円 × 240件 = 2,400千円

購入費・設置費(税抜)の2分の1の金額(上限10千円)
(総額10千円以上の購入の場合を補助対象とする)

ふるさと応援基金活用の周知方法

- 交付決定通知に事業の趣旨とふるさと納税寄付金を活用している旨の別紙を同封する。
- HPで周知

事業施策

近江八幡市環境フェア

～環境エネルギーセンター竣工10周年記念事業～
(一般廃棄物処理関連事業)



安心安全な
生活基盤の強化

新規

所管課 市民部 生活環境課

【予算額】1,500千円
(財源:ふるさと1,500千円)

ふるさと応援基金充当

<趣旨>

平成28年7月に市内竹町で環境エネルギーセンターが竣工し、令和7年度に10周年を迎える。当該施設は、廃棄物の処理はもとより、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを利用した発電を行い、隣接する健康ふれあい公園の温水プールへ熱供給を行う(サーマルリサイクル)など、エネルギーの有効活用も行ってきた。

10年間、市民の適正なごみ分別のお陰で大きな事故もなく、健全な運営を実施できた。今後も引き続き、安全安心なごみ処理・ごみ減量を実施するために、ごみ処理、特に環境エネルギーセンターをさらに周知啓発することを目的とし、**10周年を記念**し、環境フェアを開催。

我々の日常生活の根幹をなす廃棄物処理の仕組みや重要性を参加者の方々に知っていただくとともに、脱炭素等の環境問題について考える機会を提供する。

<事業内容>

- ①脱炭素、ごみ減量等の啓発展示ブース
- ②ワークショップ、生ごみ堆肥化講習会
- ③環境エネルギーセンターの見学等

<期待される効果>

◎ごみ処理について関心を持ってもらうことによって、ごみ量の減少傾向をさらに継続させることができる。

◎日常生活のあり方を見直すきっかけとなり、脱炭素に対する意識の向上につながる。



事業施策 安土福祉センター施設改修事業



新規

所管課 福祉保険部 福祉政策課

【予算額】8,006千円
(財源:ふるさと8,006千円)

ふるさと応援基金充当

【目的】 高齢者が生きがいをもって活躍できる場にするための施設改修

【現状と課題】

- ・デイサービス事業終了後、利用されていないスペースが多くあります。
- ・高齢者がより自分らしく、生き生きと生活するためには、能力を活かし、活躍できるような場づくりが必要です。

【効果】

- ・施設を活用し、高齢者が活躍できる機会を得ることができます。
- ・多くの高齢者が集うことにより、多様な活動を生み出すことができます。
- ・いつまでもお元気で、いろいろな特技を活かしながら活躍できる居場所ができます。
- ・子どもの施設と連携すると、世代間交流が可能となり、お互いにメリットが増えます。



安土地域包括
支援センター

老人クラブ連合会



市内幼保小中学校の
・お手伝いボランティア

高齢者と仕事をつなげる
コーディネート機能
(シルバー人材センターのような)



各種相談



健康活動や
各種サークル



障がい者カフェで
ほっこりタイム
高齢者の居場所に

【周知方法】改修整備後、施設にふるさと応援基金活用の旨の表示をする。

事業施策 子どもの屋内遊戯施設整備推進事業

新規

子ども・子育て支援

【債務負担行為】21,980千円(令和8年度)

【令和7年度予算額】668千円

(財源:一般財源668千円)

所管課 福祉保険部 福祉政策課

【目的】子どもの屋内遊戯施設の整備を目指した基本構想・基本計画の策定

【現状と課題】

- ・市内には公設の子どもの屋内遊戯施設がなく、雨の日や猛暑日に、安心して思いきり遊ぶことができない。

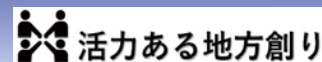
【効果】

- ・天候に関わらず、いつでも安心安全に遊ぶことができるようになる。
- ・心身ともに健やかな成長につながる
- ・子育て保護者のリフレッシュの場ができる



事業施策

定額減税不足額給付 (低所得者支援及び定額減税補足給付金事業)



継続

所管課 福祉保険部 給付金対策室

【予算額】358,524千円
(財源:国費358,524千円)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当

◆実施概要

- ・対象者 : 当初調整給付に際し、推計額を用いて算定したことにより、結果として支給額に不足が生じた方等
- ・対象者見込 : 約1万人
- ・予定 : 2024(令和6)年分の所得税と定額減税の実績の額が確定する必要がありますので、2025年以降に個人住民税が課税される市区町村から支給されます。令和7年6月以降に対象者を抽出し、順次対象者に「支給のお知らせ」又は「確認書」等を送付します。
- ・支給時期 : 令和7年8月以降、順次支給

◆給付の種類

① 不足額給付Ⅰ

本来給付すべき所要額と、当初調整給付額との間で差額が生じた者に対して、その差額を支給

不足額給付時
調整給付所要額

—

当初調整給付額
(令和6年)

=

不足額給付額
(令和7年)

調整給付額は
所得税と住民税の定額減税
不足額から算出されます



② 不足額給付Ⅱ

以下のいずれの要件も満たす者に4万円を支給

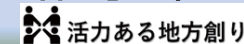
- ✓所得税及び個人住民税所得割ともに定額減税前税額がゼロ(≡本人として定額減税対象外)
- ✓税制度上、「扶養親族」から外れてしまう(≡扶養親族等としても定額減税対象外)
- ✓低所得世帯向け給付(R5非課税給付等、R6非課税化給付等)対象世帯の世帯主・世帯員に該当していない



	不足額給付Ⅰ		不足額給付Ⅱ		合計
	住民税分	所得税分	所得48万円超	事業専従者	
給付金	1,400千円 100件	260,800千円 8,150件	58,000千円 1,450件	12,000千円 300件	332,200千円 10,000件
事務費					26,544千円
合計					358,744千円
(財源)					全額国費(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

事業施策 民間心身障害児者社会福祉施設整備事業

継続



所管課 福祉保険部 障がい福祉課

【予算額】32,737千円
(財源:ふるさと32,737千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

本市では、障がい者の日中活動や住まいの場が不足しており、特に重症心身障がいや医療的ケア等に対応できるグループホームは市内になく、本人や家族の高齢化に伴い、自宅以外の住まいの場の整備が喫緊の課題となっている。また障がい児についても重症心身障がいや医療的ケア等に対応できる事業所が少ないため、保護者のニーズも高い状況である。



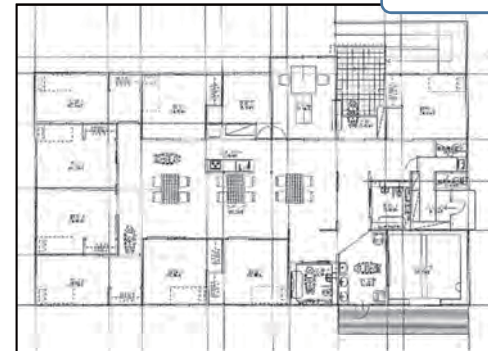
取組み

障がい者の自立を支援し、福祉の推進を図るため、社会福祉法人等が実施する施設整備に対し、障害者福祉施設整備費補助金を交付する。
(社会福祉法人きぬがさ福祉会「グループホームすみーる」定員:6名・短期入所2名、他1法人)



効果、目指す姿

施設を整備することで、重症心身障がい児者等に日中活動と住まいの場を提供することができる。
令和8年3月31日までに施設を完成し、令和8年4月1日より新施設での開所を目指す。



完成予定平面図

社会福祉法人きぬがさ福祉会「(仮称)グループホームすみーる」共同生活援助:定員6名、短期入所:定員2名

総事業費
135,225千円
市補助金額
20,500千円



完成予定平面図

NPO法人オリーブの実「(仮称)オリーブのねっこ八幡」生活介護:定員25名、放課後等デイサービス:3名、児童発達支援:2名

総事業費
48,950千円
市補助金額
12,237千円

【ふるさと応援基金活用の周知方法】
施設完成時に看板等により、ふるさと納税寄付金を活用している旨の表示を行います。

事業施策 公立就学前施設遊具更新事業

(公立認定こども園・保育所施設整備事業/幼稚園施設整備事業)

子ども・子育て支援

継続

所管課 子ども健康部 幼児課

【予算額】32,587千円
(財源:県費7,500千円 ふるさと25,087千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

・長年、子どもたちに親しまれてきた公立幼稚園、保育所、認定こども園の遊具の老朽化が進んでいます。毎年、遊具点検の結果をもとに、部分的な修繕をしているものの、全体的な劣化が進み、修繕の効果が得られなくなっています。

取組み

- ・令和6年度は大型遊具を設置している公立幼稚園、保育所、認定こども園を対象に、更新を行いました。
- ・令和7年度は、大型遊具が設置されていない施設を対象とし、老朽化した遊具を撤去を行ったうえで、新たに遊具を設置します。
- ・滋賀県「子ども・子育て施策推進交付金」を活用します。
7,500千円充当(予定) 補助率=事業費の1/2



令和6年度設置遊具

効果、目指す姿

・公立幼稚園、保育所、認定こども園の遊具を更新し、子どもたちが安全に、安心して、のびのびと楽しめる環境を提供します。

事業の周知方法

・視認性の高い場所に看板を設置し、ふるさと応援基金活用事業であることの周知を図ります。



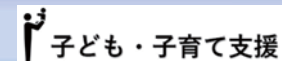
撤去遊具イメージ

撤去の対象とする遊具

- ・標準耐用年数超過
(主要構造鋼製15年、木製10年)
- ・設計、意匠が古く、現行安全基準に適合しない

事業施策

こどもの生活・学習支援事業 (ひとり親家庭対策事業)



新規

所管課 子ども健康部 こども家庭センター

【予算額】6,742千円
(財源:国費4,961千円 一般財源1,781千円)

【ひとり親家庭や低所得世帯のこどもを取り巻く現状と課題】

※厚生労働省資料より

- ・勉強、高校卒業等の意義が感じられない
- ・生活習慣や社会性が身につけていない
- ・家庭に居場所がない
- ・こどもとの関わりが少ない(親の養育面)



【対象者】

ひとり親家庭や低所得世帯等のこども(18歳まで)で上記の課題を抱える児童

【取り組み】

- ・様々な課題に対し柔軟かつ総合的に対応するために民間事業者に事業を委託
(実施場所については、民間事業者が提供する施設等)
- ・段階に応じた学習支援、多様な体験学習、食事の提供を含めたこどもの生活支援・居場所づくり
- ・対象児童者同士、専門的人材との関係性の構築
- ・保護者や学校、地域の関係機関等との情報共有・連携

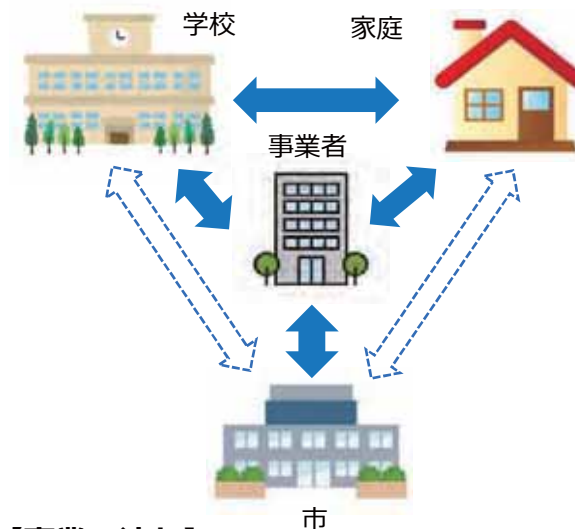
【効果・目指す姿】

- ・こどもにとって安心できる居場所の確保
- ・こども自身が生きる力を身につける機会の増加
- ・こどもと関わる人材が増え、こどもを連携して見守り支える地域の醸成



ひとり親家庭や低所得世帯のこどもの生活の向上
貧困の連鎖の防止

相互連携・情報共有



【事業の流れ】

- ・事業周知(市・委託事業者)
- ↓
- ・市へ申請書提出
- ↓
- ・市より利用決定ならびに決定通知書送付
- ↓
- ・事業の利用
 - ・食事の提供
 - ・学習支援 etc.



事業施策

こども家庭センター専属臨床心理士配置事業 (家庭児童相談室運営事業)

子ども・子育て支援

新規

所管課 子ども健康部 こども家庭センター

【予算額】2,820千円
(財源:国費705千円 一般財源2,115千円)

現状と課題

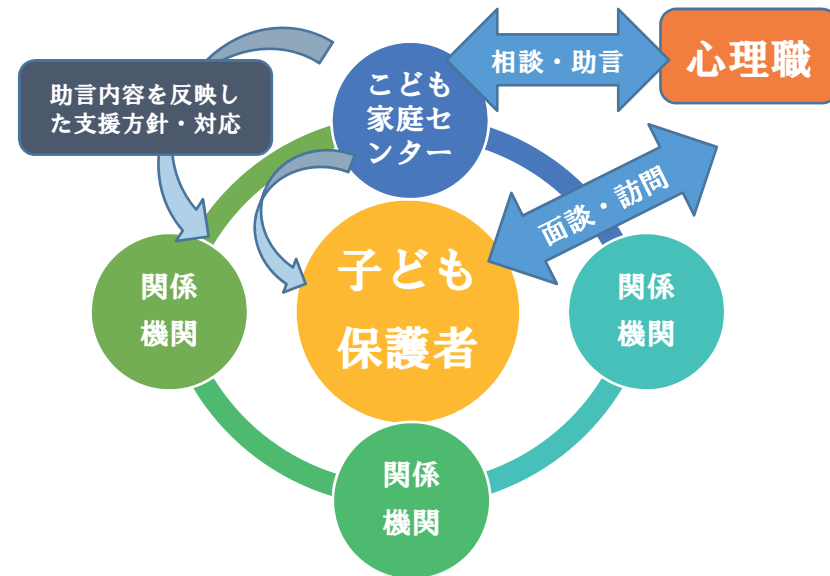
○相談内容として、発達課題を抱える子どもへの対応に苦慮して暴力を振るうケースや、保護者自身が発達障がいや精神疾患、被虐待歴があるケースの相談も多く、発達や心理面の専門性が求められる。しかし、現状は心理職の配置がなく、保護者への専門性をもった支援ができていない状況である。

取組み

- 支援に心理職の職能を取り入れる
 - ・心理的な見立て・職員や関係者への支援方針や方法の助言
 - ・子どもや保護者等の心理的ケア(訪問・面談)等

効果、目指す姿

- 保護者が子どもの発達特性や精神面を理解して適切な対応がとれるようになり、虐待の防止につながる。
- 職員や関係者が子どもや保護者の心理面や精神状況に応じた適切なケース支援ができるようになる。



<歳出>臨床心理士

報償

日額12,346円×156日=1,925,976円

通勤手当12,900円×12月=154,800円

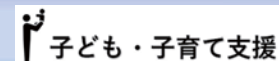
期末・勤勉手当

738,290円

計2,820千円

事業施策

放課後児童クラブ環境整備事業 (放課後児童対策事業)



新規

所管課 子ども健康部 子育て政策課

【予算額】7,000千円

(財源:国費2,333千円 県費2,333千円 一般財源2,334千円)

1. 現状

- 市内の放課後児童クラブ（施設）は23か所で、うち専用施設が10か所、民家やテナント等を活用しているものが13か所（令和6年度）

(1) 防災・防犯について

- ソフト面では、施設ごとにマニュアルを整備し、避難訓練等を計画的に実施している
- 一方、ハード面では、防災・防犯対策の設置状況は、施設ごとにバラつきがある

(2) 障がい児の受け入れについて

- 利用者数の増加に伴い障がい児の利用も増加
- 施設のバリアフリー等、円滑な受け入れのための設備や備品等の整備が進んでいない

2. 課題

(1) 防災・防犯について

- 放課後児童クラブ運営指針に基づいた防災・防犯のための施設整備が不十分な施設がある

(2) 障がい児の受け入れについて

- 医療的ケア児等の障がい児を受け入れに必要な設備や備品等について、既存の設備では不十分な施設がある

3. 方針（事業の目的）

- 放課後児童クラブ運営指針等に基づき児童の安全・安心な居場所を確保するため、防災・防犯対策や障がい児の円滑な受け入れのための環境整備を推進する

4. 手法

下記について、国基準に基づき事業者に補助する

○放課後児童クラブ環境整備事業

(1) 放課後児童クラブ環境改善事業補助金

【補助対象】 防災・防犯対策の実施に必要な設備の整備及び備品の購入に要する経費

【補助額】 上限1,000千円／1か所

【令和7年度実施予定】 6か所

(2) 放課後児童クラブ障害児受入促進事業補助金

【補助対象】 障害児を受け入れるために必要な改修、設備の整備及び備品の購入に要する経費

【補助額】 上限1,000千円／1か所

【令和7年度実施予定】 1か所

事業施策 放課後児童クラブ施設整備事業

子ども・子育て支援

継続

所管課 子ども健康部 子育て政策課

【予算額】12,707千円
(財源:国費4,200千円 県費4,200千円 ふるさと4,307千円)

ふるさと応援基金充当

目的

放課後児童クラブを利用しやすい環境づくりのため、受け皿（定員）不足による待機児童を抑制する

内容

新たな施設（受け皿）の整備

- ・ ニーズ推計に基づき整備が必要な地域（校区）を対象に放課後児童クラブを設置・運営する事業者を公募
- ・ 公募に応じた事業者に対し、開設に係る経費を補助

【近江八幡市放課後児童クラブ施設整備事業費補助金】

補助対象：既存施設の改修、備品等の開設準備に要する経費

補助額：上限12,600千円（1か所）



理想

望む人が放課後児童クラブを利用しやすい環境づくり

現状

- ・ 放課後児童クラブの利用ニーズが急増している
(利用率H26…16%→R6…33%)
- ・ 既存施設だけでは、すべての希望者の受け入れは不可能

課題

受け皿（施設定員）不足を原因とする待機児童の抑制

手段

新たな施設（受け皿）の整備

- ・ 需給ギャップが生じ、整備が必要となる地域について、民間事業者の公募を行う
- ・ 公募に応じて、開業する民間事業者に対し開設に必要な経費の一部を補助する

ふるさと納税寄附金を活用していることの周知方法

- ・ 施設の入口など利用者の目につくところに看板を設置（1か所）
- ・ 形状等については「ふるさと応援基金活用事業にかかる表示基準」に基づく

事業施策 安土こどもの家整備事業

子ども・子育て支援

継続

所管課 子ども健康部 子育て政策課

【予算額】19,177千円
(財源:その他19,177千円)

現状

- 放課後児童クラブの利用急増
(平成26年) (平成31年) (令和6年)
16% → 24% → **33%** 10年で2倍
- 少子化で対象者数は、減少傾向であるが、利用率は上昇中



課題

- 利用ニーズの高まりに対応し、施設の受け皿を確保する必要がある
- 安土小学校区においては、コミュニティエリア整備に伴い、小学校が移転するため、既存施設と小学校の距離が遠くなる

方針

- 放課後児童クラブを整備し、待機児童を生じさせない
- 安土コミュニティエリア内に新たなこどもの家を整備し、登所の安全を確保する



手法

安土こどもの家整備事業

- 安土コミュニティエリア整備にあわせて、新たな放課後児童クラブ専用施設(こどもの家)を整備する
- 施設の規模は、定員150人(3支援単位)を想定
- 令和7年度事業費として、19,177千円(こどもの家建築設計業務委託料)

スケジュール(想定)

- 令和6年度～7年度 こどもの家建築設計
- 令和9年度 建築工事
- 令和10年4月 供用開始

事業施策

親子保健カード情報の電子化の導入 (母性育成指導事業)

GX
DX GX・DX推進

新規

所管課 子ども健康部 健康推進課

【予算額】9,598千円
(財源:国費2,411千円 ふるさと7,187千円)

ふるさと応援基金充当

〈目的〉 親子保健カード情報の電子化とスムーズな乳幼児健診の運営

〈現状〉

4か月児から3歳6か月児までの乳幼児健診では、保護者が記載する紙の問診票を貼付した親子保健カードや母子健康手帳を用いている。

〈目指す姿〉

乳幼児健診等情報のデジタル化でスピーディで適切な支援の実施
過去の乳幼児健診結果や相談記録を電子化することで、健診スタッフがスムーズに記録を閲覧することができ、より適切に診察や相談支援を行うことができる。

効果

- ・ 個人情報の適切な管理（情報の漏洩や紛失の防止）
- ・ 紙データと保管スペースの削減
- ・ 令和6年度に導入開始の住基システム（健康かるて）キャビネット機能にデータを取り込むことが可能になり、突然の相談にも、誰もが対応することができる。

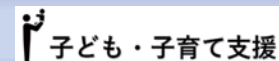


〈ふるさと応援基金活用 周知方法〉

健診の案内通知に寄付金を活用していることを記載

事業施策

1 か月児健康診査 (乳幼児健診事業)



新規

所管課 子ども健康部 健康推進課

【予算額】3,417千円
(財源:国費1,708千円 一般財源1,709千円)

〈現状〉

母子保健法に基づく1歳8か月児・3歳6か月児健診に加え、4か月児・10か月児健診と2歳6か月児健康相談を実施している。新生児（生後28日未満）の成長発達等については、産科医療機関が行う2週間・1か月の産婦健診の際にあわせて確認をしている。

〈取組み1〉

健診費用5,500円の助成
(受診券の交付)



〈効果1〉

経済的な負担をかけることなく健診を受けることができる。



〈取組み2〉

医療機関（産科・小児科）における1か月児健診の実施
(身体発育状況、栄養状態、身体
の異常の早期発見、育児の相談等)



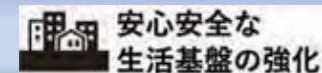
〈効果2〉

病気や異常の早期発見につながり、新生児が健やかに育つことができる。



〈目指す姿〉 産後から就園までの切れ目のない健康診査の実施体制の整備

事業施策 市道維持補修事業



継続

所管課 都市整備部 土木課

【予算額】38,000千円
(財源:ふるさと38,000千円)

現状と課題

ふるさと応援基金充当

観光バス等が通る市街地内の幹線道路において、交通量の増加、経年劣化により舗装面のヒビ割れや穴ぼこ等の損傷が見られる状態です。現在は日常管理による簡易補修と、業者発注による部分的な修繕を行っているが、路面状態が年々悪化しています。

取組み

舗装打ち換え工事にてリニューアルを実施する。

令和7年度施工予定箇所(中村大房線)



令和7年度施工予定箇所(黒橋八木線)



過年度の施工完了写真(金剛寺鷹飼2号線)



期待できる効果

- ・ 舗装段差による周辺エリアの振動の低減が図れ、生活環境が向上する。
- ・ ドライバーの快適な走行が確保される。
- ・ 地域住民及び観光客に対して本市のイメージアップと住民の安心、安全を確保する。

ふるさと応援基金活用事業であることの周知方法

- ・ 工事の施工前及び施工中において、看板等で周知する。

事業施策 都市公園施設長寿命化整備事業

安心安全な
生活基盤の強化

継続

所管課 都市整備部 都市計画課

【予算額】421,164千円
(財源:国費44,000千円 市債39,600千円 ふるさと337,564千円)

ふるさと応援基金充当

【事業目的】

・市長の重点施策である「都市公園の特色のある再整備」と令和4年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、特色のある公園かつだれもが利用しやすく安全で快適な公園整備として中村児童公園等の再整備を行う。

(リニューアル案)

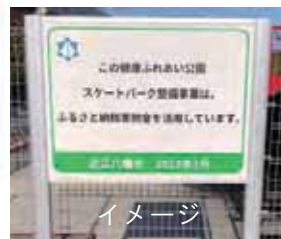


(完成パース図)



【事業の周知方法】

・視認性の高い場所に看板を設置し、ふるさと応援基金活用事業であることの周知を図ります。



事業施策 安土コミュニティエリア整備事業

継続

【債務負担行為】1,030,942千円(令和8年度)

【令和7年度予算額】1,666,847千円

所管課 都市整備部 安土コミュニティエリア整備推進室

(財源:市債674,500千円 その他992,347千円)

【現状と課題】

安土町下豊浦地先において、安土小学校、地域防災センター（コミュニティセンター）、消防分団詰所、放課後児童クラブを一体的に整備する。計画的に事業を進捗し、早期に事業完了を目指す。

【取組み】

用地造成やインフラ整備等に必要な設計及び工事を実施する。

設計業務委託 111,782千円 工事 1,546,413千円(R7) 1,030,942千円 (R8 債務負担)

【効果、目指す姿】

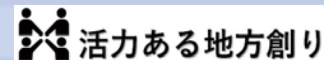
一体的な整備により、各施設が抱える課題の解決を図るとともに、災害に強いまちづくりを推進する。

【今後の予定】

令和7年度	エリア整備に必要な設計 造成工事
令和8年度～	建築工事
令和9年12月	竣工予定



事業施策 アクティ近江八幡改修工事設計業務 (勤労者福祉センター施設改修事業)



新規

所管課 産業経済部 商工振興課

【予算額】20,994千円
(財源:ふるさと20,994千円)

ふるさと応援基金充当

アクティ近江八幡の現状と課題

1.利用の固定化 2.勤労利用の低迷 3.施設や設備の老朽化

取組方針

市内起業を考える方が集まる施設にリニューアル。
老朽化対策を施して、起業家が必要とする機能や空間
を設計。更なる活用につなげます。

令和7年度

改修工事等の
調査設計業務
を実施。



予 定	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
令和6年度												
令和7年度												



アクティ近江八幡研究会
(機能空間プロデュース)



調査設計業務
(起業家が集まる機能や空間 + 老朽化対策)

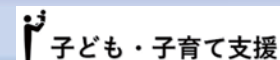


ふるさと応援基金活用の周知方法

市HPで基金活用の周知を行います。
竣工後はパンフレット、掲示板、看板の活用を検討します。

事業施策

馬淵小学校エレベーター整備事業 (馬淵小学校施設整備事業)



新規

所管課:教育委員会事務局 教育総務課

【予算額】7,691千円
(財源:ふるさと7,691千円)

ふるさと応援基金充当

【現状と課題】

- ・エレベーターが設置されておらず、配慮が必要な児童生徒や来校者が自力で上階に上がることが難しい環境。



市内小中学校
16校のうち、6校が未整備

【取組み】

- ・エレベーターを設置し、年齢や障がいに関係なく、だれもが校舎各階への移動が容易にできるようにする。

【完成イメージ】



【効果、目指す姿】

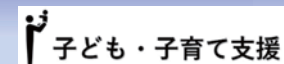
- ・障がい等に関係なく、だれもが平等に教育を受けることができる環境を整備する。
- ・児童生徒だけではなく、来校者にとっても移動が容易になりだれもが利用しやすい施設となる。
- ・給食配膳台車や重い教材を安全に運搬できるようになり、より安心で安全な教育環境となる。

【整備手法・スケジュール】

- ・令和7年度:実施設計委託
- ・令和8年度:エレベーター設置工事

- ・視認性が高い場所に銘板を設置
- ・学校のHP、学校だより等に掲載しふるさと応援基金活用事業であることの周知を図る

事業施策 安土小学校施設整備事業



継続

所管課 教育委員会事務局 教育総務課

【予算額】226,877千円

(財源:市債119,100千円 ふるさと107,777千円)

ふるさと応援基金充当

【現状と課題】

安土町下豊浦地先において、安土小学校、地域防災センター（コミュニティセンター）、消防分団詰所、放課後児童クラブを一体整備する、安土コミュニティエリア整備事業において、策定した構想の具体化に向け、小学校の設計業務を進める必要がある。

【取組み】

コミュニティエリア整備のうち小学校整備に必要な設計業務を実施する。

【効果、目指す姿】

安全・安心で豊かな教育環境の整備・充実を図る。

【今後の予定】

令和7年度 エリア整備に必要な設計

令和8年度～ 建築工事

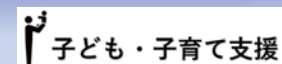
令和9年12月 竣工予定

- ・学校敷地内の視認性が高い場所に銘板を設置
- ・竣工パンフレット、学校だより等配布物への掲載でふるさと応援基金活用事業であることを周知



事業施策

八幡東中学校長寿命化改修事業 (八幡東中学校施設整備事業)



新規

所管課 教育委員会事務局 教育総務課

【予算額】23,590千円

(財源:その他23,590千円)

【現状と課題】

八幡東中学校は昭和58年に建築されてから40年以上経過しています。老朽化の進行により雨漏りや外壁のひび割れ、給排水設備の腐食による漏水等、多くの不具合が発生しており、施設の計画的な更新や維持が求められています。

【取組み】

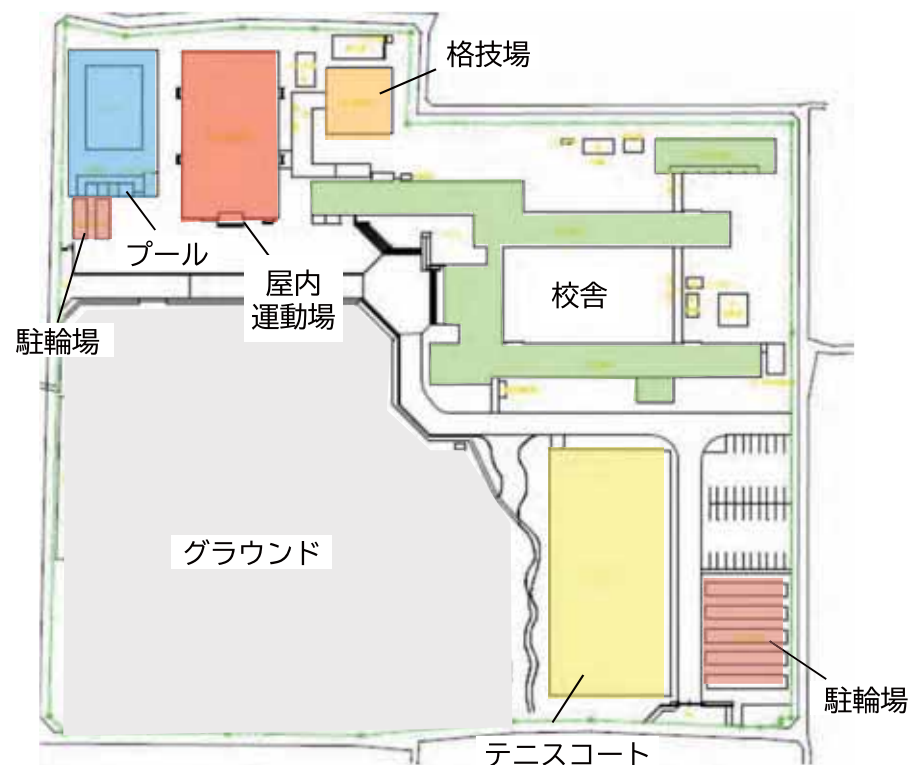
事業着手にあたり、耐力度調査、劣化度調査、石綿含有調査を実施する。

【効果、目指す姿】

単純な既存施設の改修工事だけではなく、教育内容の変化や学習環境に対応した施設整備、バリアフリーに配慮した施設整備により誰もが利用しやすい学校施設となります。

【今後の予定】

令和7年度 各種調査を実施
令和8年度 実施設計
令和9年度以降 工事着手



事業施策 児童生徒用1人1台端末更新事業 (小・中学校GIGAスクール構想推進事業)

子ども・子育て支援

継続

所管課 教育委員会事務局 教育総務課

【予算額】571,555千円

(財源:国費280,683千円 その他290,872千円)

現状

- ・破損やバッテリー摩耗が増加傾向にある。
- ・随時更新されるアプリやブラウザへの対応が困難になりつつある。

子どもたちの学びを止めないため・・・

更新時期が到来している



1人1台端末の更新



小学校5,084台(児童 4,421+予備 663)

- ・iPadの整備(現行どおり)
- ・学習支援ソフト、フィルタリングソフト、タッチペン の購入

中学校2,571台(生徒 2,236+予備 335)

- ・Chromebookの整備(現行どおり)
- ・学習支援ソフト、フィルタリングソフト、タッチペン の購入



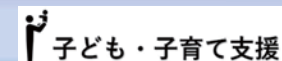
効果

- ・個の特性に応じた学びを提供し、個別最適な学習の推進が期待できる。
- ・CBT等、ますます進展するGIGAスクール構想における各種取組への対応が円滑となる。



事業施策

教育研究所長・副所長の配置 (教育研究所運営事業)



拡充

所管課 教育委員会事務局 学校教育課(教育研究所)

【予算額】6,327千円
(財源:一般財源6,327千円)

○学校現場の現状と課題

- ・教職員の年齢層が偏り、経験の浅い教員が占める割合が高い。経験の浅い教職員の指導力向上を図るため、ステージに応じた研修機会の確保が必要。
- ・管理職候補の年齢層が薄く、昇任希望者も少ないため、管理職候補の育成を図る必要がある。
- ・教科指導、生徒指導、教育相談、特別支援など、教職員に求められる役割が大きく、メンタル不調に陥る教職員も少なくない。
- ・予測不可能な時代を生き抜くために、リベラルアーツを学び、問いを見つけ、探究的に問いを解決する学習が重要であり、そのための研究が求められている。

○教育研究所の現状と課題

- ・現在は学校教育課長が所長を兼任。近年は学校教育課の業務の拡充により課長業務が増大しており、研究主事1名が研究所内の業務を担っている。
- ・教育に関する研究・研修の重要性が求められる中、十分な指導助言等が行えていない。
- ・不登校児童生徒等への緊急性を要する教育相談業務が研究主事の主たる業務となっており、本来の業務である教育研究や研修の充実に向けた取組ができない。

○取組内容

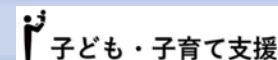
専任の教育研究所長・副所長を配置して、研修と研究の充実を図り、教員の指導力と学校の組織力向上を図る。

効果、目指す姿

- ・教職員研修が充実することで、メンタル不調に陥る教員を未然防止することができる。
- ・定期的に学校を訪問して管理職の学校運営にかかる相談・支援等を行う。
- ・新規実証研究をはじめ、各校園や教職員の個人の研究を進捗管理することで研究が深まり、指導力アップにつながる。
- ・学校の要請に応じて教職員への個別相談や指導等を行い、教職員の力量のアップを目指す。
- ・生きる力から生き抜く力まで育成プログラムを作成・実装して、幼保小中、中学校卒業後も見通した市の子ども・若者を育成支援し、自立、社会参加、様々な場所で活躍する若者に導く。

事業施策

フリースクール等民間施設運営支援補助金 (教育支援ルーム運営事業)



継続

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】8,000千円
(財源:ふるさと8,000千円)

ふるさと応援基金充当

義務教育段階における普通教育に相当する教育機会確保法 (一部抜粋)

第五条 地方公共団体は、教育機会の確保等に関する施策について、当該地域の状況に応じた施策を策定し、実施する責務を有する。

第十三条 地方公共団体は、不登校児童生徒が学校以外の場において行う多様で適切な学習活動の重要性に鑑み、不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われることとなるよう必要な措置を講ずる。

➡ ~多様な学びの居場所~

(学校外民間) フリースクール

(学校内)
教室やSSR等

(自宅等)
にこまる訪問
オンライン学習

(学校外公設) にこまるルーム

➡ 保護者の経済的負担を軽減→フリースクール等民間施設利用児童生徒支援補助金(R5から実施)

➡ 安定的・持続的な運営・活動の支援→フリースクール等民間施設運営支援補助金(R6より実施)

※詳細は補助金交付要綱で別に定める

【補助対象経費】

・職員人件費 ・講師謝金、旅費
・印刷製本費 ・光熱水費、通信費
・賃借料(児童生徒が使用する施設、建物)等

【補助率・限度額】

・補助率は、補助対象経費の実
支出額の2分の1以内とする。
・補助額は、1施設あたり年間
2,000,000円を限度とする。

【補助対象施設】

* 以下の要件をすべて満たす

- ① 市内に所在し、申請年の前年度までに認定されている。
- ② 複数の市内在住の児童生徒を受け入れている。
- ③ 指導に必要な職員を複数人有している。

➡ OR6年度は3団体(Since・ひとつぶてんとう園
・あっとスクール)

OR7年度は4団体(上記に加えてPittoin)

周知方法 取り組みを学校だよりやホームページ等で紹介する

効果、目指す姿

○多様な学びの場が安定的に確保され、困難を抱える子どもが孤立せず、学校内外の相談・支援機関とつながり、子どもや保護者のニーズに応じて必要な支援を受けることができる。

* 令和5年度諸課題調査 『不登校児童生徒のうち学校内外の相談・支援機関とつながっていない児童生徒の割合』
本市 (小学校) 5割 (中学校) 3割 【 国 (小学校) 4割 (中学校) 2割 】

事業施策

教科担任制推進事業 (小学校教育指導事業/臨時講師配置事業)

子ども・子育て支援

新規

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】 13,863千円
(財源:ふるさと1,705千円 一般財源12,158千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

2025年度から小学校中学年における教科担任制を導入する国の動きがあるが、本市では、高学年でも専科教員による指導にとどまっている現状がある。積極的な取組に至らない理由として、時間割作成の業務が煩雑であることや、小規模校での人員確保が難しいことが挙げられる。

教科担任制の取組

- 専科指導教員(市費講師)を増員し、児童の情報共有・教材研究の時間を確保するとともに、経験の浅い教員へのサポート体制をつくる。
- 先進校への視察を行い、実践事例をまとめ、学校に示す。
- 推進協力校による授業公開と大学教員による研修・指導の機会を持ち、管理職・教員への理解を深める。
- 短時間で時間割を作成し、柔軟な運用ができる時間割作成ソフトの導入と教務主任への研修を行う。

(例)



1組担任

学年の
社会科を担当



2組担任

学年の音楽・
図工・家庭科
を担当



専科指導教員

学年の
理科を担当

期待する効果

- ①授業の質の向上
 - ・教師の担当教科の減・担当授業外の時間の増に伴う教材研究の充実や系統性を意識した授業づくりによる授業改善が図られ、児童の学力の高まりが期待できる。
 - ・教員の専門性を生かした授業を行うことで、児童の学習内容の理解や学ぶ意欲の向上が期待できる。
 - ・担任の経験やスキルの差が埋まるため、学習進度・評価のばらつきが是正され、学級・学年経営が安定する。
- ②多面的な児童理解
 - ・複数の教員が教科指導に当たることを通じて、児童の学級満足度が高まり、多面的な指導・支援が可能となる。
- ③小・中学校間の円滑な接続
 - ・授業をする教員が変わることに慣れ、中1ギャップの緩和につながる。
- ④教師の負担軽減
 - ・担当教科が減ることで、授業準備の効率化、教材研究の充実につながる。

周知方法

取組みについて、学校だよりやホームページ等で周知

事業施策

松前町・近江八幡市中学生交流事業 (中学校教育指導事業)

子ども・子育て支援

新規

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】3,555千円
(財源:その他80千円 一般財源3,475千円)

現状と課題

1. 産業、経済、文化交流が深かった松前町との姉妹都市提携や関わりについて市民の認知は十分でない
2. 小学生を対象に富士宮市児童交歓会を実施しているが、中学生の交歓会は実施していない
3. 将来予測が困難で不確実な時代に、子どもたちの『生き抜く力』を醸成することを柱に置いており、これには本市とは異なる歴史や文化、地理的要件を持つ地域や生徒との交流で多角的な視点を養うことが有効である

取組内容

近江八幡市

交歓会

松前町



松前町まちなみ散策



松前町を知る学習
(偉人 金子鷗亭氏)



部活動(書道)体験



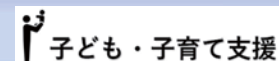
野外体験学習

効果

- ◆ 交歓交流を行うことで、本市との友好都市である松前町を市民に対して周知することができる
- ◆ 中学生との交流や松前町の歴史等を学ぶことで、地理歴史的分野の学習の定着につなげることができる
- ◆ 松前町と持続的な関係を築くための人材育成が図れる
- ◆ 本市とは異なる歴史や民俗文化、地理的要件を持つ地域や生徒との交流を通じて、子どもたちの『生き抜く力』が醸成できる
- ◆ 双方のスポーツ及び文化活動を通じて、新たな部活動への発想や発展に繋げられる

事業施策

校外学習等での学習環境整備 (特別支援教育推進事業)



新規

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】150千円
(財源:一般財源150千円)

現状と課題

『障がい者の権利に関する条約』(国連が採択)への批准以後、国や滋賀県では、共生社会(障がいのあるものとなないものが共に生きる社会)の実現を目指したインクルーシブ教育システムの構築のための取組が進められている。

→県では平成28年度から10年間、特別支援教育推進の取組を具体の実施計画として取りまとめている。

本市では特別支援学級在籍の児童生徒数が年々増加しており、また、特別支援学校就学対象の児童生徒が、地域の公立小・中学校に就学を希望する傾向がある。

令和7年度の取組み

ともに学ぶ環境整備の一環として、校外学習等でも福祉バスを利用しやすい環境を整えるため、借上げバスの一部を補助

効果、目指す姿

校外学習の行きかえりの車中も含めて、普段の学校生活と同様に共通の体験を通して、障がいのある子もない子もともに学ぶ機会を提供する



事業施策

学校における多様な居場所の創出 (スペシャルサポートルーム運営事業)

子ども・子育て支援

拡充

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】33,915千円
(財源:県費5,800千円 ふるさと28,115千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

- 小中学校において令和6年度にSSRを開室し、支援員や学習指導員が常駐したことにより、昨年度不登校であった児童生徒の38人が利用して登校している。(全体で120名の児童生徒が利用)
- 多くの学校で支援員や学習指導員の勤務が午前中に終了するため、午後でもルームを利用したい児童がいても午後は、ルームを開室できないこともある。利用する児童生徒にとって安心して過ごせる環境づくりが必要である。

小中学校に配置する
スペシャルサポートルーム
(SSR) 支援員・学習指導員の
業務時間の拡充

現行

- ①小学校8:30~16:30の間 4時間/日
- ②中学校8:30~16:30の間 3時間/日

拡大案

小中共に8:30~16:30の間 6時間/日

スペシャルサポートルーム

★専任の支援員が午後も常駐

(例) 毎日9:00~15:00開室

- * 一日中行きたいときに行ける。
- * いつも同じ人が迎えてくれる。
- * ひとりになりたいときになれる。
- * 静かな場所で落ち着ける

～こんな場所に～

- * 教室復帰のみをめざさない
- * 居場所+自立に向かう場に
- * 相談する力やSOSを出せる力をつける
- * 自分の良さや強みを知り生かす場に

訪問教育相談員

保護者

マナビイ (教育支援センター)

- スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー
- 学級担任等教員
- スクリーニングケアサポーター
- 養護教諭 など

効果、目指す姿

- 状態に応じて、子どもに寄り添った個別の支援を行い、子どもの心身の不調を改善させることができる。
- 不登校リスクのある児童生徒について支援員が伴走者となり、担任をはじめとする教職員や関係機関とつなぎ、全職員で子どもたちの状況を評価し、計画的な支援方法の検討ができる。

周知方法

取り組みを学校だよりやホームページ等で紹介する

事業施策 中学校部活動強化支援推進事業

子ども・子育て支援

新規

所管課 教育委員会事務局 学校教育課

【予算額】123,129千円
(財源:県費4,480千円 ふるさと118,649千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

令和4年12月スポーツ庁・文化庁から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が示され、本市でも部活動指導員の配置や拠点校地域クラブの体制化、地域移行推進協議会での議論等に取り組んできたが、受け皿をはじめ様々な課題があることから展望が見えていない状況があった

令和7年度の取組

- ①「中学校部活動主事」を各中学校に設置（8名体制）
 - ・部活動指導員をコーディネート（指導も行う）
 - ・部活動に関する事務／・学校との連絡調整
 - ・部活動指導員の発掘・研修 等
- ②各部活動における部活動指導員の設置（2名体制）
 - ・滑らかに移行するために、50名の指導員を計画
- ③中学校部活動の強化支援
 - ・魅力的な部活動環境の整備（備品等購入）
 - ・新たな部活動の体験や検討
 - ・小学性の特別活動（クラブ活動）との連携

効果目指す姿

- これまで以上に魅力的な公立中学校の部活動を実現
 - 教職員のワークライフバランスの改善
 - 教育課程に専念する適切な時間を創出し、授業や子どもたちへの指導に取り組める環境を整備
- 『公的部活動を保障』し、部活動を通して『生き抜く力』の醸成を目指す

周知

- ・ふるさと応援基金を活用していることを、購入した備品や改修後の音楽室に表示
- ・学校だより、ホームページ等で取り組みを紹介

中学校部活動強化支援イメージ図



近江八幡市教育委員会

【午前】部活動主事は、教育委員会事務局で事務を行う。新たな魅力づくりの構想、部活動指導員へ研修の実施、指導員の発掘・コーディネートに関すること等



八幡中学校



八幡東中学校



八幡西中学校



安土中学校

例）部活動イメージ

【午後】部活動主事は、学校との連絡調整、部活動指導員の統括、部活動指導等を行う



統括



部活動指導員は、部活動指導を行う

魅力的な部活動の環境整備、新しい部活動の検討、部活動の指導等



事業施策 放課後子ども教室推進事業

子ども・子育て支援

拡充

所管課 教育委員会事務局 生涯学習課

【予算額】1,788千円
(財源:県費1,154千円 ふるさと127千円 その他507千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

市内すべての小学校で、平日の放課後中心に小学校やコミセン等において多様な学習、交流活動を実施している。国・県の補助金減額にともない、支援員の配置が困難になるため、子どもたちが放課後、安心・安全に過ごせる居場所が十分に確保できていないことが課題となっている。



取組み

各校の実情に応じ、学習推進員の配置や活動内容の検討。充実を図りながら、小学生を対象とした放課後におけるスポーツや体験・文化活動、子どもと地域住民との交流などに取り組む。



効果

支援員を配置できることで、子どもたちが放課後に安全・安心に過ごす居場所ができるとともに、より充実した体験・交流活動を図ることができる。

放課後子ども教室

放課後児童クラブとの連携

【地域学校協働本部】
地域学校協働活動推進員



連携
協働

学習支援員
その他（子ども教室推進員等）

多様なプログラムの提供

学習支援や体験活動

- ・学習支援（予習復習、宿題等）
- ・体験学習（芸術教室、伝承遊び体験活動、防災学習、地域資源を活用した自然体験学習等）

参画

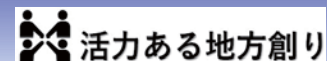
退職教職員、大学生、地域の高齢者、民間教育事業者等の様々な地域人材

寄附金活用の周知方法

各校（12校）から保護者向けに発信する関係通信に「寄附金活用」の旨、表示する

事業施策 子ども・若者支援推進事業

(子ども・若者育成支援事業/子ども・若者育成支援施設整備事業)



継続

所管課 教育委員会事務局 生涯学習課

【予算額】 33,357千円
(財源:市債21,900千円 ふるさと11,457千円)

ふるさと応援基金充当

現状と課題

- ・現在使用しているマナビィ(旧南中学校)は、耐震面が不十分で老朽化が進行。
- ・不登校児童生徒の在籍率が高く、学校や家庭だけでは解決困難なケースが大半。
- ・相談者(若者)が就労につながることは難しい。

寄附金活用の周知方法

市HPへの掲載及び施設への掲示により周知します



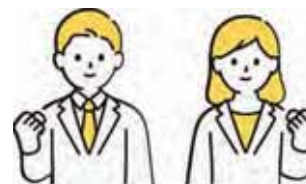
取組み R6~R8

- ①施設整備(教育支援機関集約化)
旧人権センターの改修と増築
設計業務委託費 34,844千円
- ②体制整備(起業プロデュース)
若者の起業支援・若者によるまちづくりプロジェクトの企画と運営支援
プロデュース委託費 19,975千円



新たな複合教育支援機能の整備 〔地域課題解決型生涯学習の推進〕

教育支援機関の集約化
による重層的支援の強化



若者による、
まちづくりプロジェクト
企画・運営支援



若者が協働し、自ら「職」
を生み出す起業支援

次世代を見据えた
生涯学習の拠点



複合教育支援機能整備による効果、目指す姿

- ・若者が「個の殻への閉じこもり」状態から社会となめらかに接続し、社会参画への扉を開けることができるよう、個々の課題に応じた行政施策が展開できる。
- ・協働しながら「職」を生み出し、地域を動かすプロジェクトを企画・運営できる若者へと導ける。

事業施策 第79回国民スポーツ大会運営事業

新規

所管課 教育委員会事務局 国スポ・障スポ推進課

【予算額】573, 828千円
(財源: 県費239, 261千円 一般財源334, 567千円)

現状と課題

2025年に本県において44年ぶりとなる国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会が開催され、本市では全7競技が実施される。開催に向けて、近江八幡市実行委員会が運営準備を進め、競技関係者をはじめ、宿泊・交通・飲食など、多岐にわたる準備を行うため、各種関係団体と連携する。

取組み①

各競技会の実施に向けて万全の準備を整え、円滑な運営をめざす。

取組み②

大会の認知度向上を図るため、啓発活動を実施する。さらに、大会には「する」「みる（観戦）」「ささえる（ボランティア・協賛・おもてなし）」など、さまざまな形で『参加』できることを広くPRし、市民の積極的な参加を促す。

【大会日程】

□国スポ | デモンストレーションスポーツ
ウォーキング 4/12(土)

□国スポ | 公開競技
綱引 8/23(土)~24(日)

□国スポ | 正式競技
トライアスロン 9/28(日)
バレーボール 9/28(日)~10/1(水)
ハンドボール 10/3(金)~7(火)
軟式野球 10/4(土)

■障スポ | 正式競技
バレーボール(身体障害) 10/25(土)~26(日)



効果、目指す姿

多くの市民に大会を認知してもらい、試合観戦やボランティアなど、「する」「みる」「ささえる」のさまざまな形で参加し、大会を盛り上げることで、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、本市の魅力を再発見し、それを全国に広く発信することで、スポーツ振興や地域活性化につなげる。また、大会終了後には、大会や関連イベントが思い起こされることで、日々の活力となり、自己を奮い立たせるきっかけとなる一生の思い出を提供し、子どもたちに夢や希望を与え、国スポ・障スポの無形レガシーとして次代へとつなげる。

主な事業の一覧

(1)創造性が豊かで行動力があり、地域を担い未来へ通じる「人」を育みます



(単位：千円)

事業名	ポイント	前年度 事業費	本年度 事業費	本年度財源内訳					キー ワード	詳細 資料
				国県 支出金	市債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源		
子どもの屋内遊戯施設整備推進事業	子どもの屋内遊戯施設の整備を目指した基本構想・基本計画の策定	-	668	-	-	-	-	668	①	P.28
公立認定こども園・保育所施設整備事業	公立保育所の大型遊具の設置	9,273	17,227	3,750	-	13,477	13,477	-	①	P.31
		【 25,641】	【 26,452】	【 3,750】	【-】	【 22,702】	【 22,702】	【-】		
幼稚園施設整備事業	公立幼稚園の大型遊具の設置	14,641	15,360	3,750	-	11,610	11,610	-	①	P.31
		【 45,030】	【 23,055】	【 3,750】	【-】	【 19,305】	【 19,305】	【-】		
家庭児童相談室運営事業	保護者に対して発達や心理面の支援を行うため、臨床心理士を配置	-	2,820	705	-	-	-	2,115	①	P.33
		【 14,496】	【 18,004】	【 5,247】	【-】	【-】	【-】	【 12,757】		
放課後児童対策事業	放課後児童クラブの防災・防犯対策や障がい児の円滑な受入のための環境整備に対し補助金を交付	-	7,000	4,666	-	-	-	2,334	①	P.34
		【 490,784】	【 600,811】	【 397,534】	【-】	【 4,320】	【 4,320】	【 198,957】		
放課後児童クラブ施設整備事業	待機児童抑制のため、新たな施設の整備（改修・開設）を支援	12,698	12,707	8,400	-	4,307	4,307	-	①	P.35
安土こどもの家整備事業	安土こどもの家の整備に向けた実施設計を実施	5,753	19,177	-	-	19,177	-	-	①	P.36
母性育成指導事業	乳幼児健診結果を記録した親子保健カード情報を電子化	-	9,598	2,411	-	7,187	7,187	-	③	P.37
		【 82,097】	【 101,113】	【 16,174】	【-】	【 8,851】	【 8,851】	【 76,088】		

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ G X ・ D X 推進 ④ 安心安全な生活基盤強化 ⑤ 高齢者生きがい

上段：ポイントの事業費および財源

下段：【 】書は予算書事業名全体の事業費および財源

主な事業の一覧

(1)創造性が豊かで行動力があり、地域を担い未来へ通じる「人」を育みます



(単位：千円)

事業名	ポイント	前年度 事業費	本年度 事業費	本年度財源内訳					キー ワード	詳細 資料
				国県 支出金	市債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源		
馬淵小学校施設整備事業	だれもが平等に教育を受けることができる環境整備のため、馬淵小学校にエレベーター設置に向けた実施設計を実施	-	7,691	-	-	7,691	7,691	-	①	P.43
安土小学校施設整備事業	安土小学校の整備に向けた実施設計を実施	68,063	226,877	-	119,100	107,777	107,777	-	①	P.44
八幡東中学校施設整備事業	八幡東中学校の長寿命化に向けた耐力度調査、劣化度調査、石綿含有調査を実施	-	23,590	-	-	23,590	-	-	①	P.45
小学校GIGAスクール構想推進事業	小学校にて児童に1人1台配布している端末の更新を実施	-	387,728	186,413	-	201,315	-	-	①	P.46
		【 52,315】	【 472,295】	【 186,413】	【-】	【 221,264】	【 19,949】	【 64,618】		
中学校GIGAスクール構想推進事業	中学校にて生徒に1人1台配布している端末の更新を実施	-	183,827	94,270	-	89,557	-	-	①	P.47
		【 30,912】	【 224,304】	【 94,270】	【-】	【 106,997】	【 17,440】	【 23,037】		
教育研究所運営事業	教員の指導力と学校の組織力向上に向けて、専任の教育研究所長・副所長を配置	-	6,327	-	-	-	-	6,327	①	P.48
		【 3,759】	【 10,515】	【-】	【-】	【-】	【-】	【 10,515】		
教育支援ルーム運営事業	フリースクールの安定的・持続的な運営・活動のために、補助金を交付	6,000	8,000	-	-	8,000	8,000	-	①	P.49
		【 19,719】	【 22,215】	【 840】	【-】	【 10,520】	【 10,520】	【 10,855】		
小学校教育指導事業	小学校中学年における教科担任制の導入に向けた、職員向けの研修等を実施	-	1,705	-	-	1,705	1,705	-	①	
		【 7,146】	【 16,830】	【 2,163】	【-】	【 4,788】	【 4,788】	【 9,879】		

<キーワード>① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ G X ・ D X 推進 ④ 安心安全な生活基盤強化 ⑤ 高齢者生きがい

上段：ポイントの事業費および財源

下段：【 】書は予算書事業名全体の事業費および財源

主な事業の一覧

(1)創造性が豊かで行動力があり、地域を担い未来へ通じる「人」を育みます



(単位：千円)

事業名	ポイント	前年度 事業費	本年度 事業費	本年度財源内訳					キー ワード	詳細 資料
				国県 支出金	市債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源		
臨時講師配置事業	授業の質向上や多面的な児童理解、小・中学校間の円滑な接続を図るため、教科担任制を導入し、臨時講師を増員	-	12,158	-	-	-	-	12,158	①	P.49
		【 26,310】	【 47,525】	【-】	【-】	【-】	【-】	【 47,525】		
中学校教育指導事業	新たに本市の友好都市である北海道松前町と、中学生同士の交歓交流を実施	-	3,555	-	-	80	-	3,475	①	P.50
		【 3,073】	【 6,845】	【-】	【-】	【 80】	【-】	【 6,765】		
スペシャルサポートルーム運営事業	児童、生徒にとって安心して過ごせる環境づくりに向けて、スペシャルサポートルーム支援員・学習指導員の業務時間を拡充	9,812	33,915	5,800	-	28,115	28,115	-	①	P.52
中学校部活動強化支援推進事業	魅力的な部活動を実現するために、新たに部活動主事・部活動指導員を配置	-	123,129	4,480	-	118,649	118,649	-	①	P.53
放課後子ども教室推進事業	放課後学習支援や体験活動の充実に向けて、学習支援員を確保	1,689	1,788	1,154	-	127	127	507	①	P.54
子ども・若者育成支援事業	新たな複合教育支援機能にかかるプロジェクトの企画および運営支援を委託	-	8,966	-	-	8,966	8,966	-	②	P.55
		【 6,709】	【 16,647】	【-】	【-】	【 8,966】	【 8,966】	【 7,681】		
子ども・若者育成支援施設整備事業	教育支援機関の集約化に伴う旧人権センターの改修および増築設計の実施	-	24,391	-	21,900	2,491	2,491	-	②	
第79回国民スポーツ大会運営事業	本大会開催及び関連イベントを開催	-	573,828	239,261	-	-	-	334,567	②	P.56

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ G X ・ D X 推進 ④ 安心安全な生活基盤強化 ⑤ 高齢者生きがい

上段：ポイントの事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

主な事業の一覧

(2)一人一人が互いに支え合い、心のかよう地域社会を創ります



(単位：千円)

事業名	ポイント	前年度 事業費	本年度 事業費	本年度財源内訳					キー ワード	詳細 資料
				国県 支出金	市債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源		
家計応援商品券配布事業	物価高騰対策として市民1人当たり3,000円分の商品券を配布	274,122	275,064	204,247	-	-	-	70,817	②	P.17
安土福祉センター施設改修事業	旧安土デイサービスセンターを、高齢者専用施設として活用するための改修工事を実施	-	8,006	-	-	8,006	8,006	-	⑤	P.27
低所得者支援及び定額減税補足給付金事業	令和6年度の定額減税を補足する給付金の支援額に不足が生じた方に不足分を給付	-	358,524	358,524	-	-	-	-	②	P.29
民間心身障害児者社会福祉施設整備事業	社会福祉法人等が実施する施設整備を支援	-	32,737	-	-	32,737	32,737	-	②	P.30
ひとり親家庭対策事業	ひとり親家庭や低所得世帯の子どもに、学習支援等を通じた生活支援・居場所づくりを実施	-	6,742	4,961	-	-	-	1,781	①	P.32
		【 8,931】	【 19,107】	【 12,114】	【-】	【-】	【-】	【 6,993】		
乳幼児健診事業	新たに新生児の1ヵ月健診を実施	-	3,417	1,708	-	-	-	1,709	①	P.38
		【 12,884】	【 20,736】	【 1,708】	【-】	【-】	【-】	【 19,028】		
特別支援教育推進事業	障がいのある子もない子も、ともに学ぶ環境整備の一環として校外学習時の福祉バス借上げ費用の一部を負担	-	150	-	-	-	-	150	①	P.51
		【 50,904】	【 66,638】	【 1,856】	【-】	【-】	【-】	【 64,782】		

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤強化 ⑤ 高齢者生きがい

上段：ポイントの事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

主な事業の一覧

(3) 豊かな自然、歴史、文化を守り・活かし、未来に引き継ぎます



(単位：千円)

事業名	ポイント	前年度 事業費	本年度 事業費	本年度財源内訳					キー ワード	詳細 資料
				国県 支出金	市債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源		
ふるさと音楽祭振興事業	近江八幡の自然や風景、町並みと一流の演奏家による音楽が融合したまちを目指した音楽祭の実施	-	10,000	-	-	10,000	9,500	-	②	P.13
文化財保存活用事業	安土城天主信長の館で「幻の安土城」をリアルに体験	-	28,710	-	-	28,710	28,710	-	②	P.14
		【 34,169】	【 33,499】	【-】	【-】	【 32,695】	【 32,394】	【 804】		
文化会館整備事業	令和7年9月のリニューアルに向けて、長寿命化改修工事を継続実施	548,383	983,066	-	834,600	148,466	-	-	②	P.15
地球温暖化対策事業	ゼロカーボンチャレンジコンテストの実施	-	294	-	-	-	-	294	③	P.23
	LED照明買換に補助金を交付	-	20,000	-	-	20,000	20,000	-		P.24
	宅配ボックス設置に補助金を交付	-	2,400	-	-	2,400	2,400	-		P.25
		【 46,000】	【 174,534】	【-】	【-】	【 173,900】	【 173,900】	【 634】		
一般廃棄物処理関連事業	環境エネルギーセンター稼働10周年にあたり、ごみ処理の啓発として環境フェアを開催	-	1,500	-	-	1,500	1,500	-	④	P.26
		【 119,325】	【 62,497】	【-】	【-】	【 43,158】	【 1,500】	【 19,339】		

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤強化 ⑤ 高齢者生きがい

上段：ポイントの事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源



主な事業の一覧



(4) 地域の魅力を掘り起こし、暮らしを支える産業を興します

(単位：千円)

事業名	ポイント	前年度 事業費	本年度 事業費	本年度財源内訳					キー ワード	詳細 資料
				国県 支出金	市債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源		
オーガニックヴィレッジ 推進事業	有機栽培における生産者の省力 化をサポートする農機具シェア の仕組みづくりに加え、農業の 担い手確保や販路開拓に向けた 取組を実施	10,016	35,535	13,122	-	-	-	22,413	③	P.8
観光ブランディング推進 事業	「出張！お城EXPO in 滋賀・ びわ湖」に出展し、当市の戦国 コンテンツのPRや物産販売を行 う	-	1,132	-	-	1,132	1,132	-	②	P.16
		【 37,751】	【 29,278】	【-】	【-】	【 9,290】	【 9,290】	【 19,988】		
勤労者福祉センター施設 改修事業	市内で起業を考える方が集まる 施設への改修に向けた調査設計 業務の実施	-	20,994	-	-	20,994	20,994	-	②	P.42

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ G X ・ D X 推進 ④ 安心安全な生活基盤強化 ⑤ 高齢者生きがい

上段：ポイントの事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源



沖島と夕日

新緑の八幡堀



主な事業の一覧

(5)時代にあった安全・安心な生活基盤を築き、次世代への礎を築きます



(単位：千円)

事業名	ポイント	前年度 事業費	本年度 事業費	本年度財源内訳					キー ワード	詳細 資料
				国県 支出金	市債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源		
避難所空調設備整備事業	災害発生時に良好な避難所生活を確保すべく、公立小中学校の体育館、運動公園体育館、サン・ビレッジ近江八幡に空調設備を整備	-	52,978	-	52,900	-	-	78	④	P.7
安土地域防災センター整備事業	安土地域防災センターの整備に向けた実施設計を実施	22,883	76,276	-	72,400	3,876	-	-	④	P.11
住民防犯活動事業	65歳以上の高齢者を含む世帯に対して、特殊詐欺対策機能付きの電話機購入にかかる費用を補助	-	500	-	-	500	500	-	④	P.21
		【 7,323】	【 8,743】	【-】	【-】	【 500】	【 500】	【 8,243】		
市民バス運行事業	リアルタイムの運行情報が把握できるバスロケーションやデジタルサイネージの設置、交通系ICの導入などDX施策の展開	-	40,033	20,016	-	20,017	20,017	-	③	P.22
		【 151,827】	【 202,919】	【 27,356】	【-】	【 66,986】	【 20,017】	【 108,577】		
市道維持補修事業	中村大房線、黒橋八木線の舗装をリニューアル	37,140	38,000	-	-	38,000	38,000	-	④	P.39
		【 127,947】	【 133,192】	【-】	【-】	【 38,000】	【 38,000】	【 95,192】		
都市公園施設長寿命化整備事業	公園施設長寿命化計画に基づく中村児童公園の再整備工事の継続実施	187,650	421,164	44,000	39,600	337,564	337,564	-	④	P.40
安土コミュニティエリア整備事業	安土コミュニティエリア整備にかかる実施設計および土地の造成工事等を実施	341,170	1,666,847	-	674,500	992,347	-	-	-	P.41

<キーワード> ① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ G X ・ D X 推進 ④ 安心安全な生活基盤強化 ⑤ 高齢者生きがい

上段：ポイントの事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

主な事業の一覧



(6)協働と連携に基づいてしなやかな「地域の経営」ができる体制を整えます

(単位：千円)

事業名	ポイント	前年度 事業費	本年度 事業費	本年度財源内訳					キー ワード	詳細 資料
				国県 支出金	市債	その他 特定財源	内ふるさと 応援基金	一般財源		
地域まちづくり支援事業	各学区の特性を生かした個性的で活力のあるまちづくりへ向けて、各まちづくり協議会への交付金を増額	122,616	134,393	-	-	-	-	134,393	②	P.9
がんばる自治コミュニティ事業	自治会が実施する省エネ家電買換、樹木伐採、ゴミステーションの設置・改修費用への支援を追加	7,692	13,050	-	-	13,050	13,050	-	②	P.10
国際交流・多文化共生推進事業	弥助の出身国と言われているモンゼンピーク共和国との交流にかかる渡航費用等を補助	-	4,500	-	-	-	-	4,500	②	P.12
		【 6,429】	【 11,440】	【 1,554】	【-】	【-】	【-】	【 9,886】		
新市庁舎整備事業	令和8年1月の供用開始にむけ、新市庁舎整備を継続実施	1,206,358	4,164,399	5,000	3,123,400	1,035,999	-	-	-	P.18
市庁舎南別館施設改修事業	外部倉庫を新設	6,492	297,402	-	267,600	29,802	-	-	-	P.19
戸籍住民基本台帳事業	現状の業務の整理をし、窓口業務の民間外部委託をすることにより、現状の課題の解決、市民サービスを向上させ、安定した窓口業務を存続させる	-	59,314	8,002	-	-	-	51,312	④	P.20
		【 32,999】	【 154,348】	【 16,204】	【-】	【 902】	【-】	【 137,242】		

<キーワード>① 子ども・子育て支援 ② 活力ある地方創り ③ GX・DX推進 ④ 安心安全な生活基盤強化 ⑤ 高齢者生きがい

上段：ポイントの事業費および財源

下段：【】書は予算書事業名全体の事業費および財源

市政運営におけるキーワード別の事業費計

①子ども・子育て支援	1,105,558千円	④安心安全な生活基盤の強化	649,732千円
②活力ある地方創り	2,469,355千円	⑤高齢者生きがい	8,006千円
③GX・DX推進	107,860千円		

全国の皆様からのふるさと応援寄附金
令和7年度の活用額は

総額 25億2,197万8千円



ふるさと応援寄附金
活用事業の紹介

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(1) 自然環境及び地域の歴史的遺産の保全 (1/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード	事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
脱炭素推進事業	脱炭素の推進にかかるイベント開催	750	750	③	地球温暖化対策事業	太陽光発電設備及び蓄電池システム設置への支援	31,500	31,500	③
文化財保存活用事業	関学、滋賀県の3者によるヴォーリズ建築と同時代の近代建築遺産調査	2,430	2,430	②	地球温暖化対策事業	LED照明への買替に対する補助	20,000	20,000	③
文化財保存活用事業	八幡山城下町の背割石垣調査および記録の実施	1,254	1,254	②	地球温暖化対策事業	宅配ボックスの購入に対する補助	2,400	2,400	③
伝統的建造物群保存事業	伝統的保存地区のまちなみ景観保全修理・修景補助金	25,520	12,760	②	火葬場施設維持管理事業	火葬炉修繕、バルクタンク等設備の更新	24,682	24,682	④
伝統的建造物群保存事業	伝統的建造物群保存地区の防火対策及び耐震対策を含む防災計画の策定	7,628	3,814	②	一般廃棄物処理関連事業	環境フェアの開催	1,500	1,500	⑥
公用車集中管理事業	電気自動車の購入	5,082	3,982	③	美化推進対策事業	生ごみ処理器購入補助	3,515	3,515	③
環境保全対策事業	市民の環境美化活動に対する自走式草刈機の貸出	3,990	3,990	⑥	美化推進対策事業	地域団体等の資源ごみ集団回収に対する補助	2,667	2,667	③
地球温暖化対策事業	省エネ性能が高い製品への買替に対する補助	120,000	120,000	③	土地改良事業	西の湖浄化のための流量・水質調査委託	14,000	14,000	③

キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(1) 自然環境及び地域の歴史的遺産の保全 (2/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キー ワード
小学校脱炭素推進事業	小学校LED照明器具の整備	11,197	11,197	①
中学校脱炭素推進事業	中学校LED照明器具の整備	2,917	2,917	①
(1) 全18事業	(1)小計	281,032	263,358	-

ふるさと納税の返礼品



キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(2)医療及び福祉の充実 (1/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード	事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
地域活性化公衆浴場整備事業	八幡町第一共同浴場の整備	27,674	27,674	②	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	使用済みおむつを園が処分するための費用を補助	339	339	①
福祉事務事業	相談支援システムの導入	50,821	50,821	③	民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	保育環境向上のため、民間保育所等の運営費の一部を補助	39,525	39,525	①
安土福祉センター施設改修事業	旧安土デイサービスセンターを高齢者専用施設とするための改修	8,006	8,006	⑤	民間保育所施設整備補助事業	金田東こども園の整備補助	282,229	10,187	①
老人福祉対策事業	米寿・白寿敬老祝い、およびねりんピック出場激励金	5,201	5,201	⑤	北里学区認定こども園施設整備事業	北里学区認定こども園の施設整備	91,800	27,900	①
高齢者生活支援事業	高齢者補聴器購入助成	3,600	3,600	⑤	公立認定こども園・保育所施設整備事業	公立保育所に大型遊具を設置	26,452	22,702	①
民間心身障害児者社会福祉施設整備事業	障がい福祉施設整備の支援	32,737	32,737	②	一時預かり事業	一時預かり保育の委託	3,248	1,082	①
保育人材確保事業	保育士の処遇改善に対する補助	27,306	27,306	①	お誕生おめでとう健やか祝金事業	お誕生おめでとう健やか祝金の給付	9,280	8,280	①
民間保育所及び認定こども園等運営補助事業	保育充実のための保育士配置事業	40,500	40,500	①	子ども食堂支援事業	子ども食堂の係る活動に対する支援	4,560	4,560	①

キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(2)医療及び福祉の充実 (2/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
乳児おむつ等支給子育て支援事業	乳児世帯へのおむつ等の育児用品配達と見守りの実施	21,540	11,540	①
放課後児童対策事業	放課後児童クラブの利用者に対する助成（低所得者減免）	3,600	3,600	①
放課後児童対策事業	放課後児童クラブの利用者に対する助成（送迎バス負担助成金）	720	720	①
放課後児童クラブ施設整備事業	放課後児童クラブの施設整備に対する補助金	12,707	4,307	①

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
特定不妊治療費助成事業	不育症治療費に対する助成	200	200	①
特定不妊治療費助成事業	先進医療を併用した不妊治療費への助成	2,400	2,400	①
感染症予防対策事業	带状疱疹予防接種助成金	4,900	4,900	⑤
(2) 全23事業	(2)小計	699,345	338,087	-

ふるさと納税の返礼品



キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(3)教育及び文化の振興 (1/3)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード	事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
友好都市交流補助事業	友好都市と交流事業を実施する団体に対する補助金	3,900	3,900	②	安土小学校施設整備事業	安土小学校の整備	226,877	107,777	①
ふるさと文化振興事業	文化芸術振興団体が実施する事業に対する補助	3,000	3,000	②	小学校給食設備整備事業	小学校の給食配膳室に空調設備を整備	11,220	11,220	①
ふるさと音楽祭振興事業	近江八幡市版音楽祭の実施	10,000	9,500	②	小学校教育教材事業	岡山小学校のプラスバンド活動促進のため、音楽家の招へいと楽器の購入	1,520	1,520	①
アートで広げる子どもの未来プロジェクト事業	芸術鑑賞やアーティスト派遣事業の実施	16,302	16,302	②	小学校教育教材事業	岡山小学校に体育備品及びICT機器を導入	1,300	1,300	①
文化財保存活用事業	安土城天主信長の館で「幻の安土城」をリアルに体験	28,710	28,710	②	小学校GIGAスクール構想推進事業	校務支援システムの更新	45,699	8,374	①
幼稚園施設整備事業	公立幼稚園に大型遊具を設置	23,055	19,305	①	小学校GIGAスクール構想推進事業	児童が学習で使用するAIデジタルドリルを整備	6,575	6,575	①
スクールバス運行事業	北里小学校にて運行するスクールバスの更新	4,871	4,871	①	小学校GIGAスクール構想推進事業	放課後児童クラブに対して、1人1台端末設備整備を補助	5,000	5,000	①
馬淵小学校施設整備事業	馬淵小学校にエレベータを整備	7,691	7,691	①	八幡西中学校施設整備事業	八幡西中学校の整備	103,774	49,374	①

キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(3)教育及び文化の振興 (2/3)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード	事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
中学校給食設備整備事業	中学校の給食配膳室に空調設備を整備	2,706	2,706	①	小学校外国語教育事業	小学校における外国語教育の充実	1,286	1,286	①
中学校GIGAスクール構想推進事業	校務支援システムの更新	15,233	2,791	①	小1すこやかサポーター配置事業	新小学1年生に対する学習・生活面でのサポート支援	9,076	9,076	①
中学校GIGAスクール構想推進事業	生徒が学習で使用するAIデジタルドリルを整備	14,649	14,649	①	生きる力育みプラン推進事業	ICT教育推進に向けた業務支援の実施	7,920	7,920	①
教育支援ルーム運営事業	フリースクール支援・経営補助金	11,360	10,520	①	スペシャルサポートルーム運営事業	空き教室等を利用した多様な学びの居場所づくりと専任の支援員の配置	33,915	28,115	①
小学校教育指導事業	小学校を対象とした西の湖体験学習の実施	636	636	①	中学校部活動強化支援推進事業	中学校の部活動支援体制の強化にむけた取り組み	108,577	104,097	①
小学校教育指導事業	小学校の教科担任制導入	1,705	1,705	①	中学校部活動強化支援推進事業	八幡中学校音楽室の建具改修工事	14,552	14,552	①
小学校教育指導事業	沖島での水環境探求学習の実施	2,447	2,447	①	社会教育関係団体育成事業	こども体験推進事業補助金	3,000	3,000	①
外国語指導助手（ALT）配置事業	小中学校に対して民間派遣のALTを配置	37,730	37,730	①	コミュニティスクール・地域学校協働本部事業	地域学校協働活動推進員活動時間の拡充	514	514	①

キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(3)教育及び文化の振興 (3 / 3)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キー ワード
放課後子ども教室推進事業	放課後子ども教室学習支援員の確保	127	127	①
子ども・若者育成支援事業	若者の起業支援やまちづくりプロジェクトの企画や運営の業務委託	8,966	8,966	①
子ども・若者育成支援施設整備事業	子ども・若者育成支援施設の整備	24,391	2,491	①
本のまち！動く図書館事業	移動図書館車の運行および配本サービスの実施	10,796	10,796	①
社会体育施設整備事業	移動式バスケットゴール更新	11,708	5,708	②
社会体育施設整備事業	公用車の更新	4,025	4,025	②
(3) 全38事業	(3)小計	824,813	558,276	-

ふるさと納税 の返礼品



キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(4)産業の振興

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード	事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
政策推進事業	大阪・関西万博において ヨシ、西の湖のPR	3,000	3,000	②	ライティングプロジェクト推進事業	八幡堀ライトアップエリアの拡大	41,382	41,382	②
シティプロモーション事業	戦略的総合プロモーション業務委託	90,670	90,670	②	畜産業振興事業	近江牛生産・消費に対する補助	121,385	121,385	②
NPO活動促進事業	まちづくり団体育成支援 業務委託料および補助金	7,860	7,860	②	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業	農業用施設の維持管理と農村環境保全の活動への補助	134,567	33,643	②
観光振興事業	観光イベントに対する補助	9,950	9,950	②	勤労者福祉センター施設改修事業	アクティ近江八幡に新たな機能と空間を創出するための改修	20,994	20,994	②
観光振興事業	名誉市民であるヴォーリズ氏の来日120年を記念した協議会事業の支援	2,500	2,500	②	体験型事業創出事業	新たに体験型事業を創業する事業者への補助	15,020	15,020	②
観光振興事業	安土城郭資料館の展示品をリニューアル	6,580	6,580	②	製造・加工事業者創出促進事業	新たな商品の製造加工等を行う事業者を支援	300,045	300,045	②
観光ブランディング推進事業	観光プロモーションを実施し、旅マエ・旅ナカの情報発信力を強化	8,158	8,158	②	企業立地促進事業	企業等の立地促進や雇用機会の拡大に係る審査会	199	199	②
観光ブランディング推進事業	出張！お城EXPO in 滋賀・びわこにて、安土城・観光PRの実施	1,132	1,132	②	(4) 全15事業	(4)小計	763,442	662,518	-

キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(5)安全及び安心の都市づくり (1/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード	事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
防災活動事業	自治会等の防災資機材整備に対する補助	3,000	3,000	④	公衆便所整備事業	近江八幡駅南北トイレの改修	44,747	44,747	④
防災活動事業	A E D整備に対する補助	500	500	④	市道維持補修事業	黒橋八木線の舗装をリニューアル	8,000	8,000	④
がんばる自治コミュニティ事業	防犯カメラを設置する自治会への補助	500	500	②	市道維持補修事業	中村大房線の舗装をリニューアル	30,000	30,000	④
がんばる自治コミュニティ事業	省エネ家電買替やゴミステーション設置・改修等を実施する自治会に補助	11,550	11,550	②	施設維持補修事業	近江八幡駅自由通路の屋根の修繕	15,180	15,180	④
自治ハウス整備事業	自治会施設の新築、建て替え、バリアフリー化等への補助	23,174	11,588	②	橋梁・トンネル長寿命化修繕事業	橋梁・トンネルの点検・修繕による長寿命化	26,001	6,901	④
安心安全メール配信事業	不審者情報等の配信	830	830	④	単独市道改良事業	野村外周道路の整備	60,000	60,000	④
住民防犯活動事業	特殊詐欺対策電話機等購入補助金	500	500	④	河川改良整備事業	老蘇地区水路の改修	14,000	14,000	④
市民バス運行事業	市民バスのDX	40,033	20,017	③	河川改良整備事業	八幡学区の背割排水流域調査	17,000	17,000	④

キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(5)安全及び安心の都市づくり (2/2)

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
都市空間情報デジタル 基盤構築事業	3D都市モデル（公開型 3Dマップ）の生成	18,337	8,337	③
都市公園施設長寿命化 整備事業	都市公園施設長寿命化計 画に基づく中村児童公園 の再整備	421,164	337,564	④

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
通学路安全対策施設整 備事業	通学路の環境設備、安全 対策の実施	7,925	7,925	④
通学路安全対策施設整 備事業	馬淵学区の通学路安全対 策にかかる土地購入費及 び補償金	55,892	36,172	④
(5) 全20事業	(5)小計	798,333	634,311	-

ふるさと納税の返礼品



キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他

ふるさと応援寄附金活用事業の紹介

(6) デジタル改革、行政改革

(単位：千円)

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
行政推進事業	ふるさと名誉市民に関連する事業として職員向け講演会の開催	521	521	②
がんばる自治コミュニティ事業	自治会デジタル化促進事業補助金	1,000	1,000	②
デジタル行政推進事業	ペーパーレス会議システム使用料	264	264	③
デジタル行政推進事業	文書管理・電子決裁システム利用料	10,956	10,956	③
デジタル行政推進事業	住宅地図forWeb使用料	159	159	③
基幹系おうみ自治体クラウド管理事業（コンビニ交付事業）	各種証明書のコンビニにおける交付	3,686	3,686	③
いきいき職員育成事業	チームおうみはちまん海外派遣研修・語学研修	11,624	11,624	②
財政管理事業	財務会計システムに電子決裁機能を追加	17,478	17,478	③

事業名	ポイント	事業費	内、ふるさと 応援基金	キーワード
コンビニ交付事業	各種証明書のコンビニにおける交付	10,202	10,202	③
保健センター運営事業	健康カルテの電子キャビネットの導入	212	159	③
母性育成指導事業	子育て支援アプリ利用料	2,221	1,664	③
母性育成指導事業	親子保健カードの電子化	9,598	7,187	①
学校運営支援事業	デジタル採点システム使用料	528	528	③
(6) 全13事業	(6)小計	68,449	65,428	-
(1)～(6) 全127事業	(1)～(6)総計	3,435,414	2,521,978	-

キーワード：①子ども・子育て支援 ②活力ある地方創り ③GX・DX ④安全・安心な生活基盤 ⑤高齢者生きがい ⑥その他



滋賀県近江八幡市総務部財政課

〒523-8501

滋賀県近江八幡市桜宮町236番地

T E L 0748-36-5750

F A X 0748-32-3237

E-mail 010412@omihachiman.lg.jp

市HP <https://www.city.omihachiman.lg.jp>